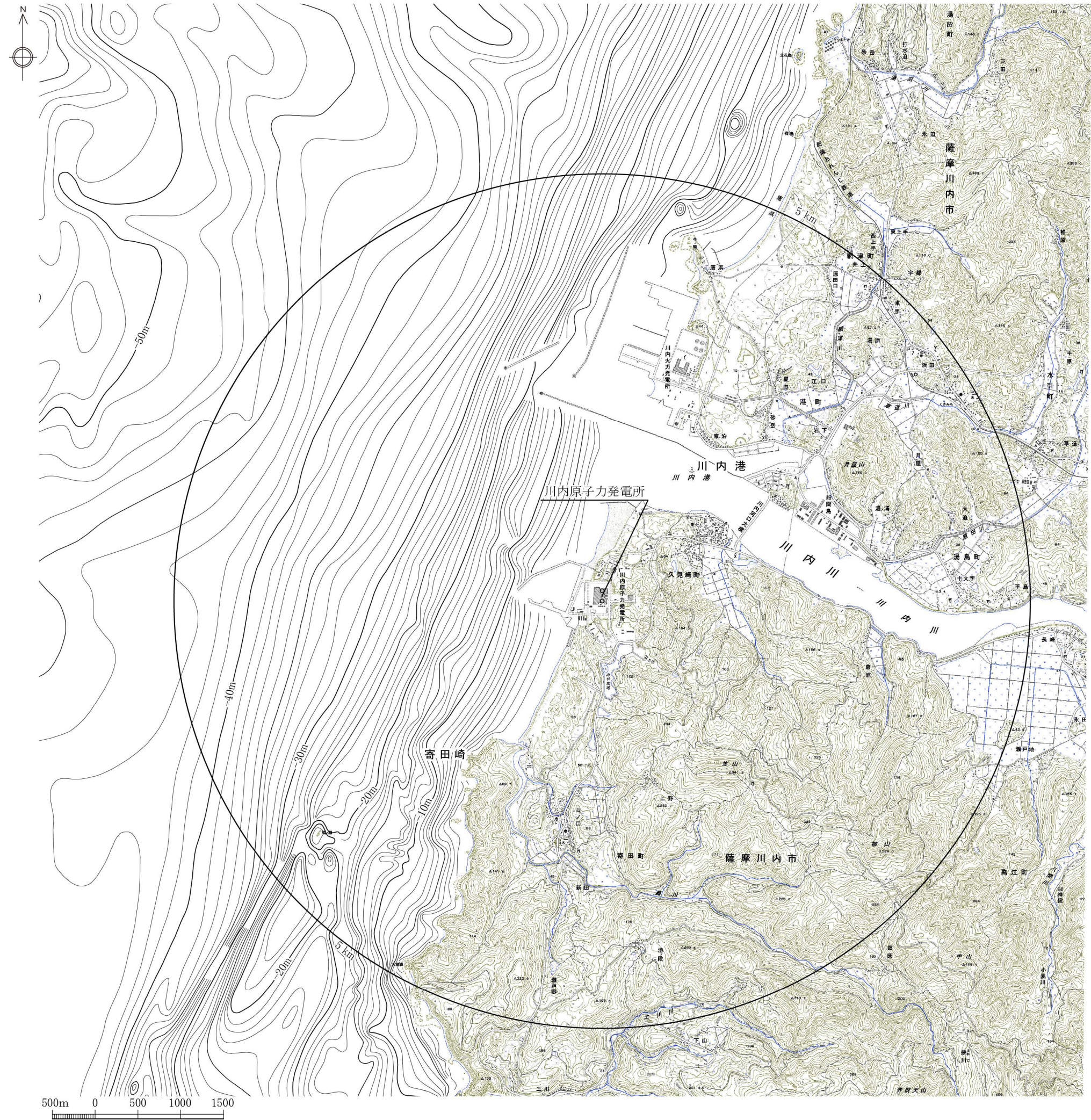
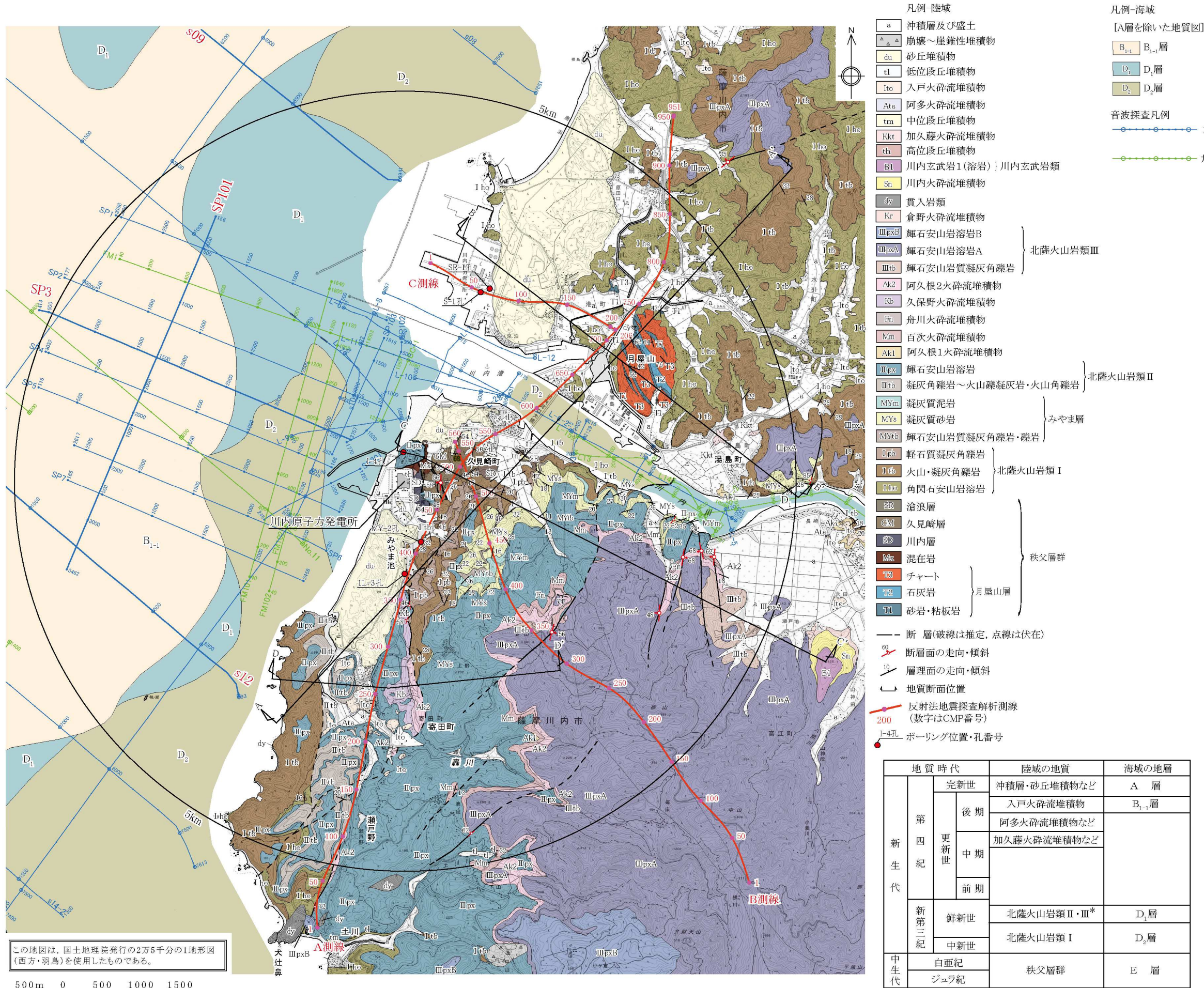


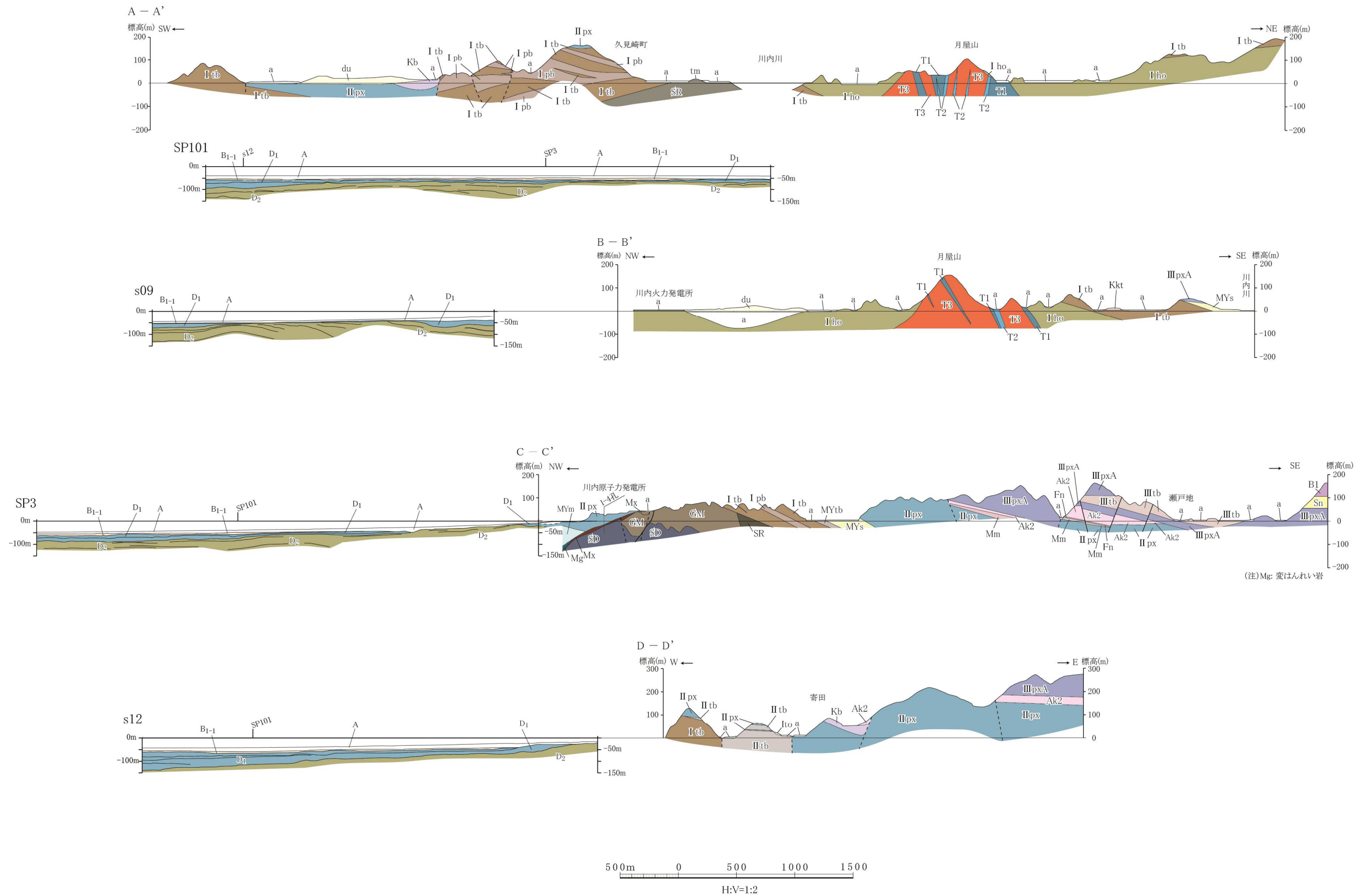


この陸域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(西方・羽島)を使用したものである。海域の地図は、海上保安庁刊行の5万分の1沿岸の海の基本図(阿久根・串木野)を編集したものである。

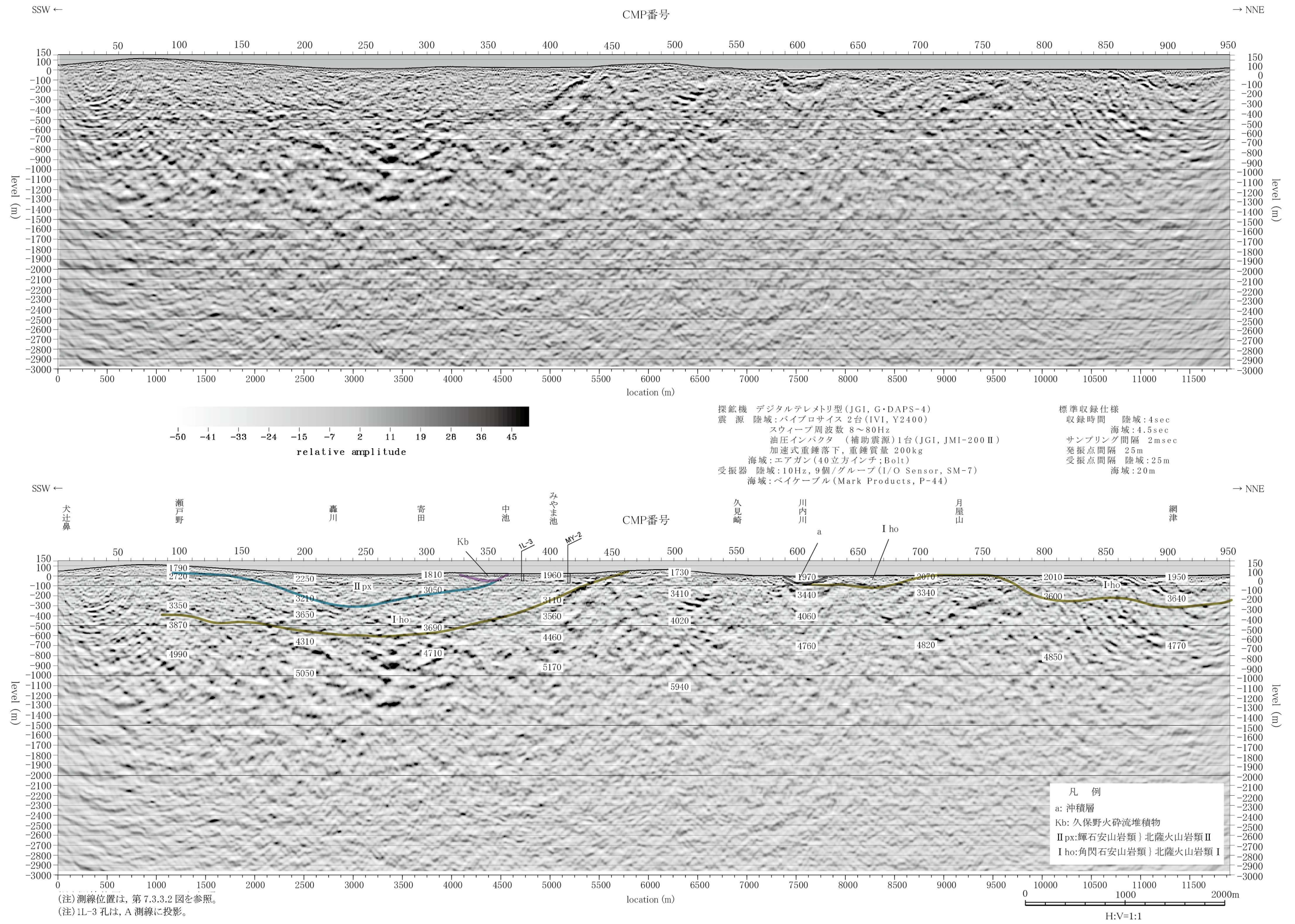
第 7. 3. 3. 1 図 敷地近傍の地形図



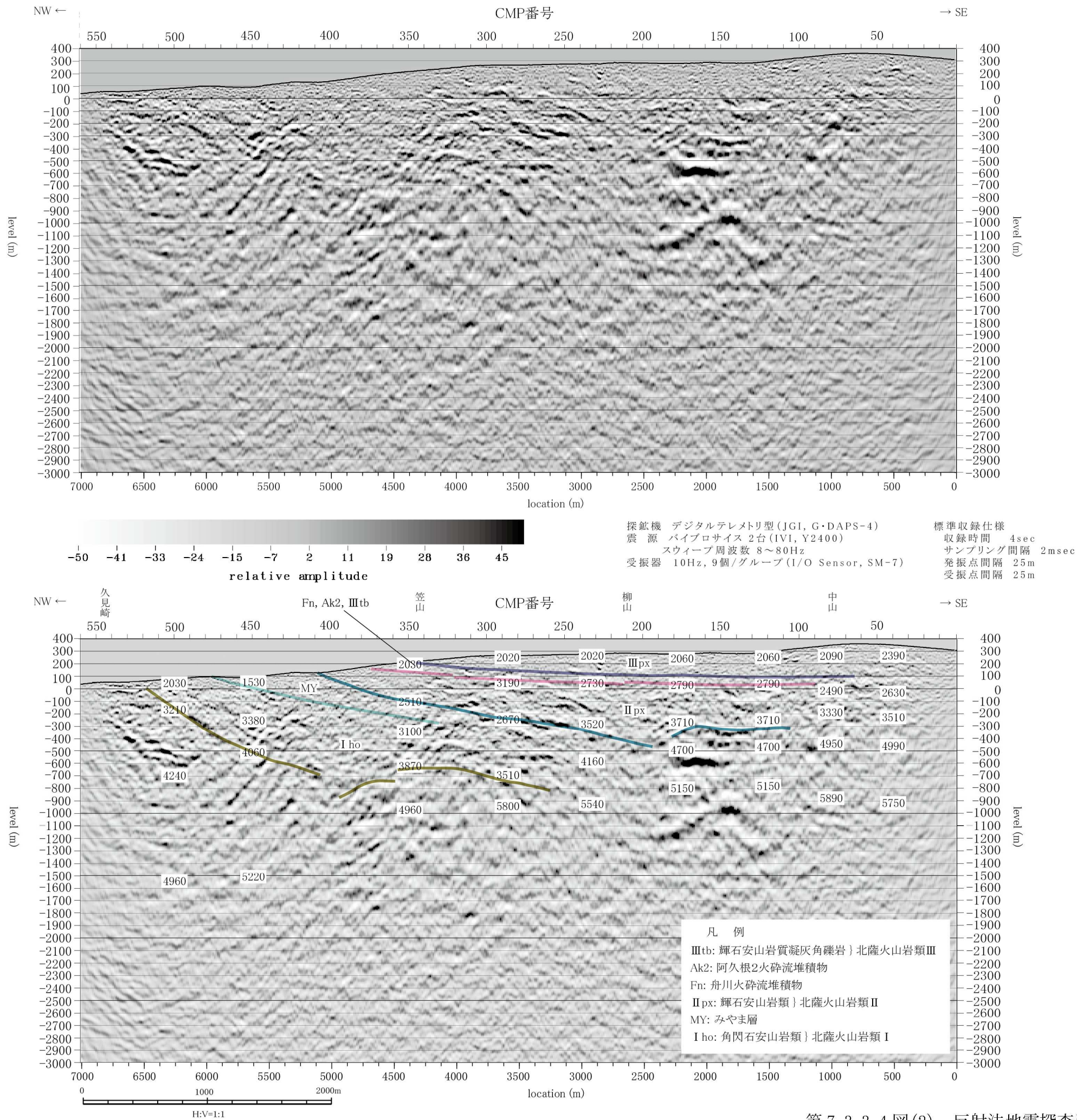
第 7. 3. 3. 2 図 敷地近傍の地質図



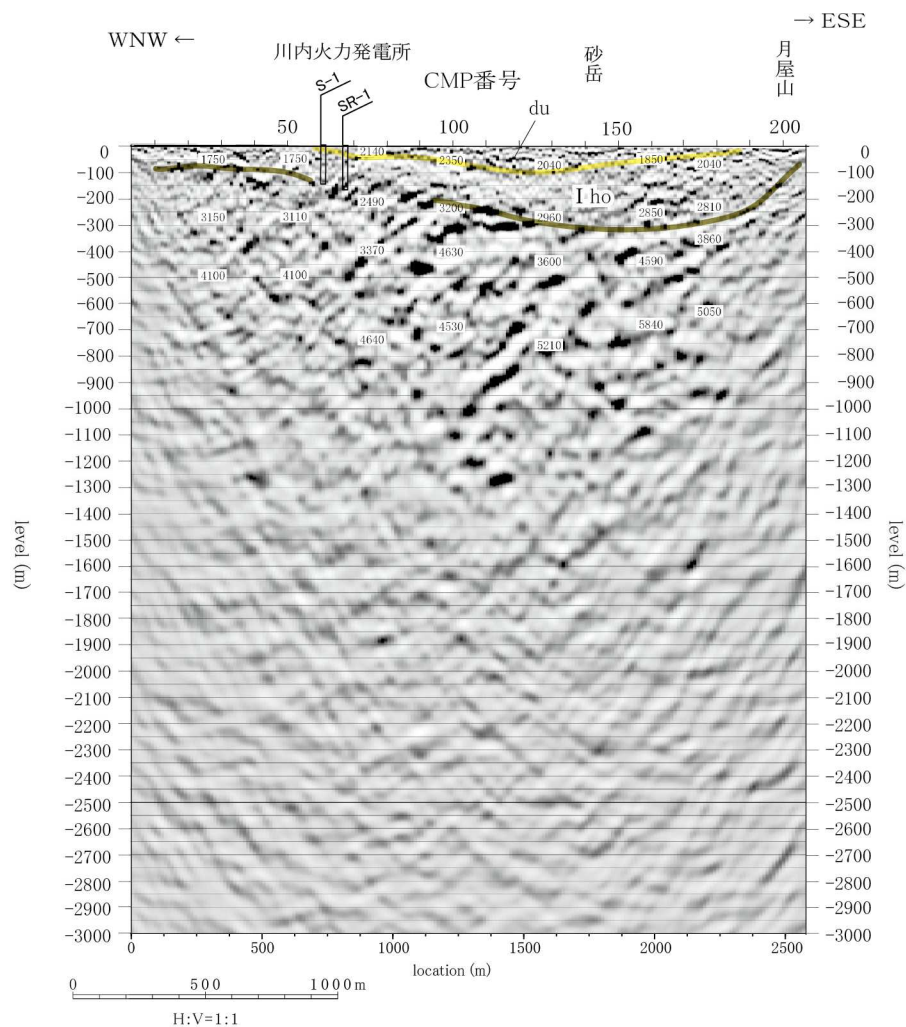
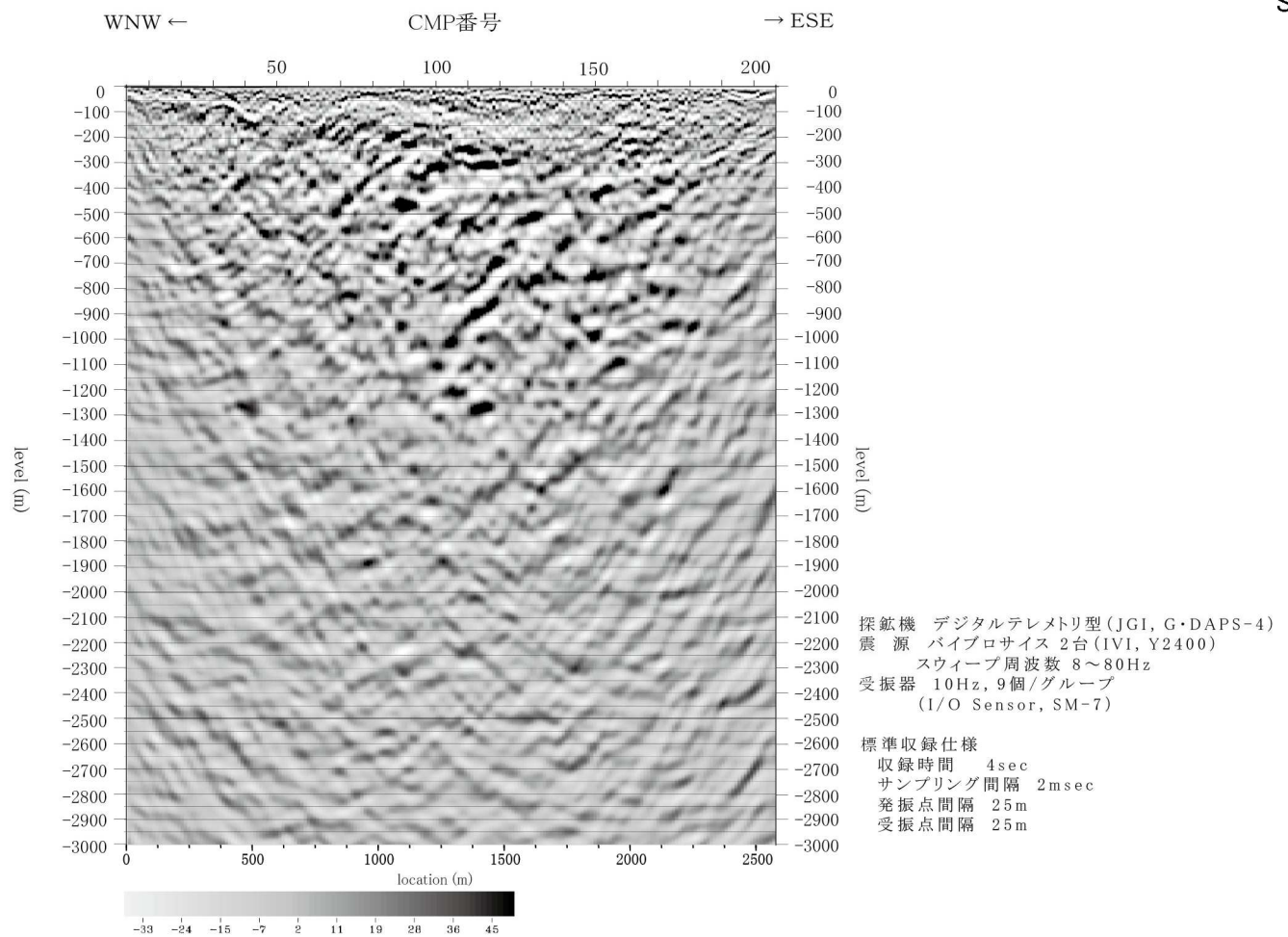
(注) 凡例は、第 7.3.3.2 図を参照。
第 7.3.3.3 図 敷地近傍の地質断面図



第 7.3.3.4 図(1) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (A 測線)



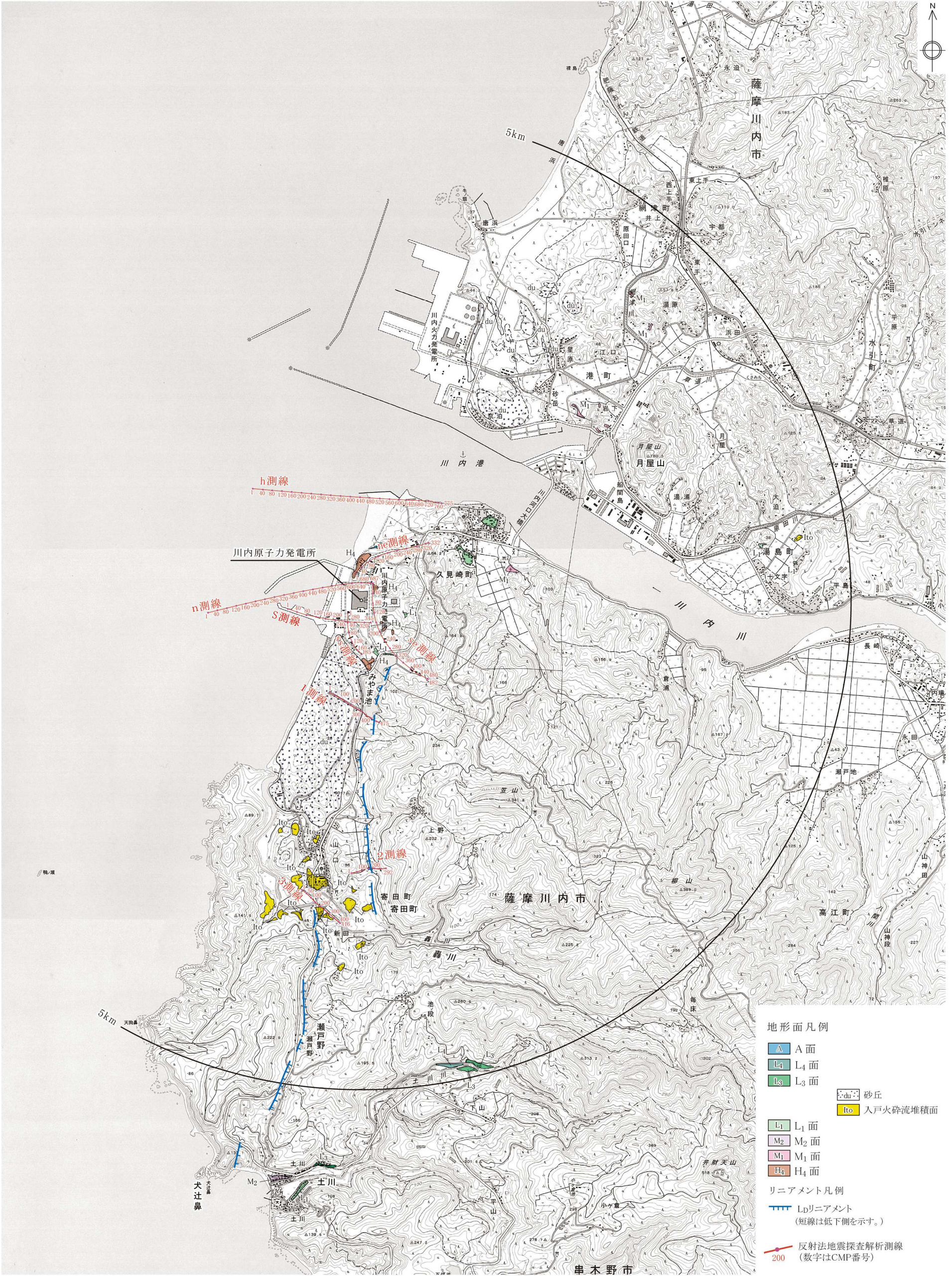
第 7. 3. 3. 4 図(2) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (B 測線)



(注)測線位置は、第 7.3.3.2 図を参照。

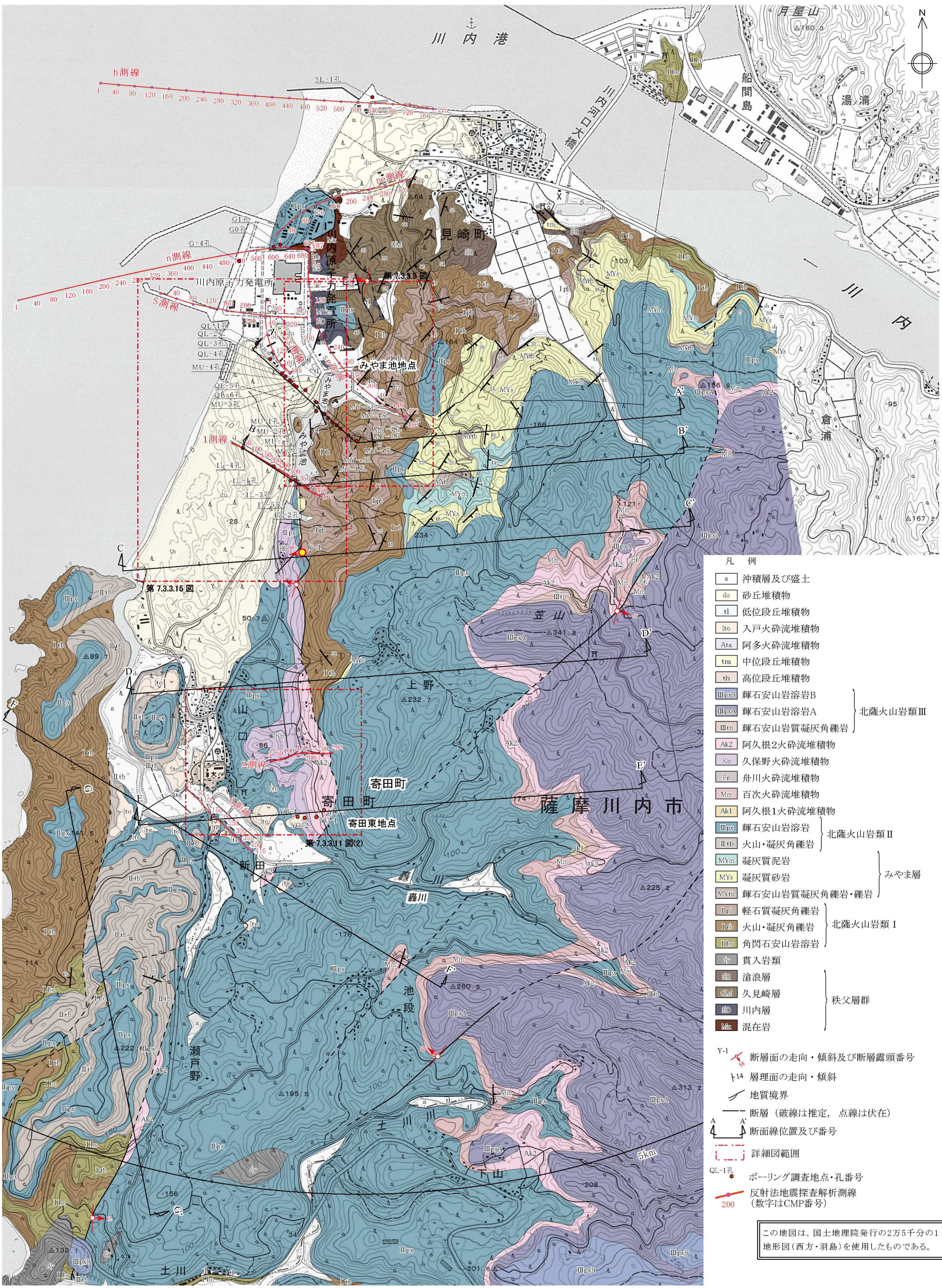
(注)SR-1 孔は、C測線に投影。

第 7.3.3.4 図(3) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (C 測線)

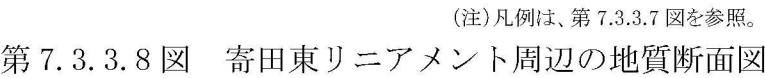


第 7.3.3.5 図 敷地近傍陸域の空中写真判読図

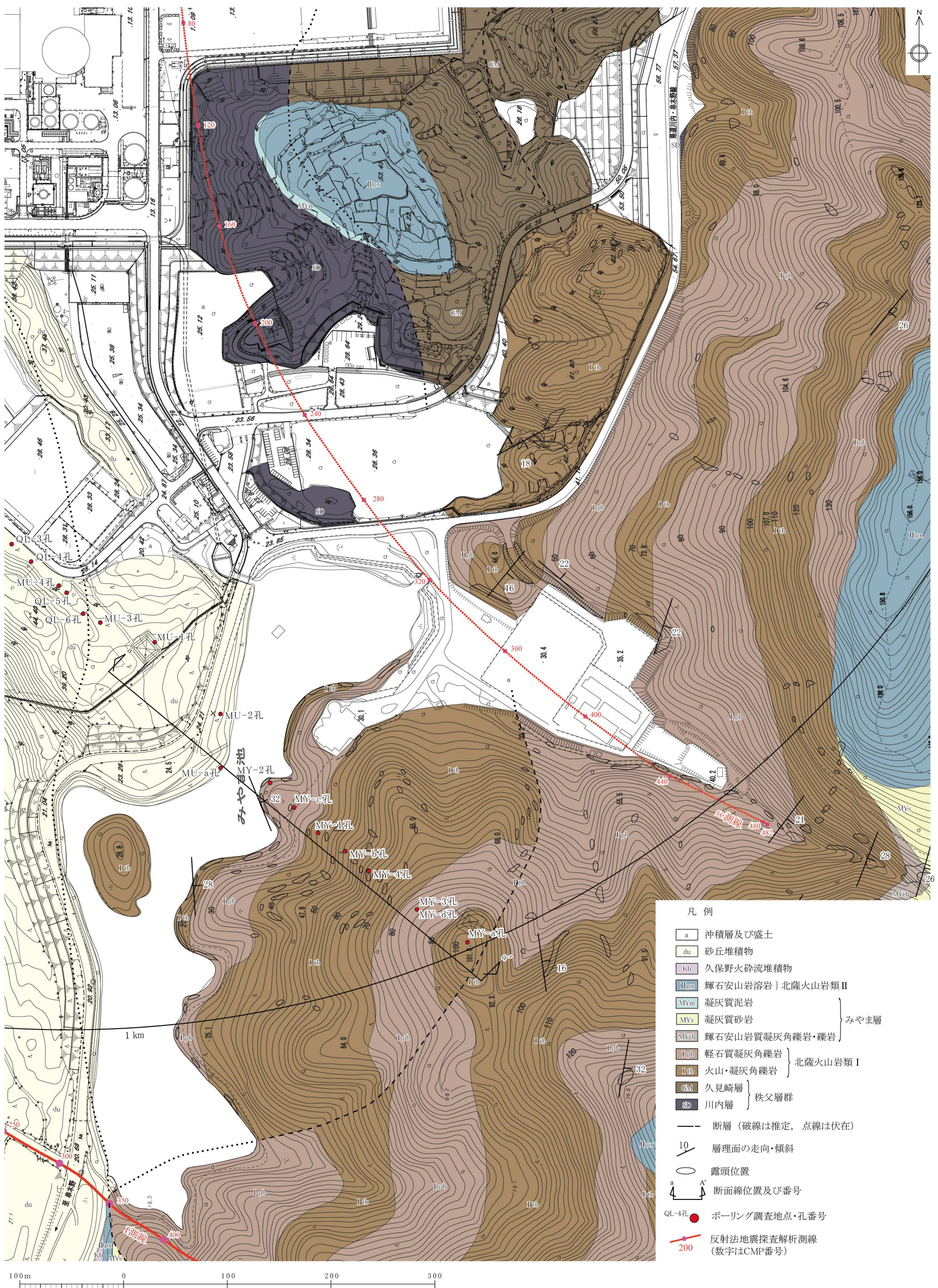




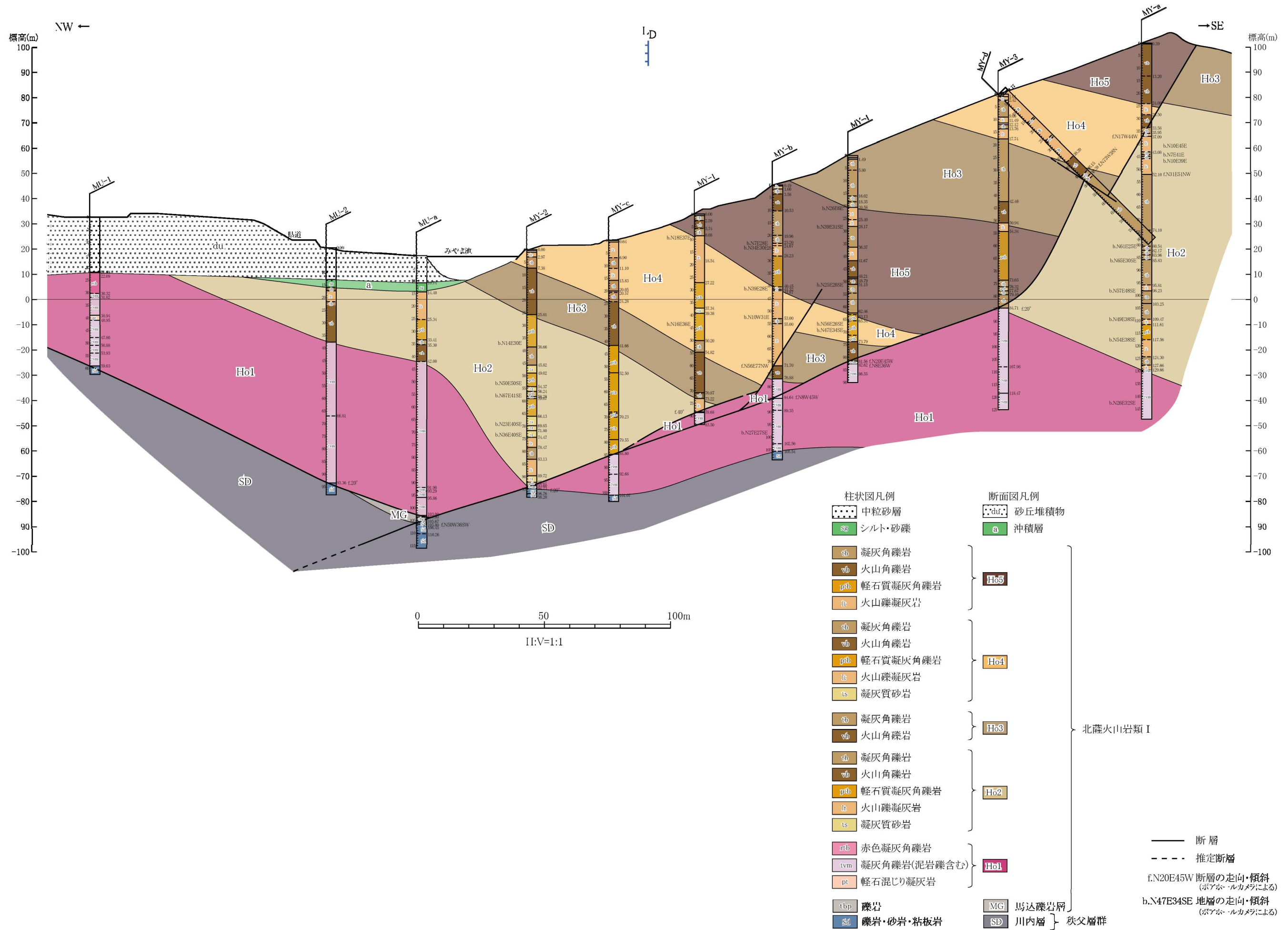
第 7.3.3.7 図 寄田東リニアメント周辺の地質図

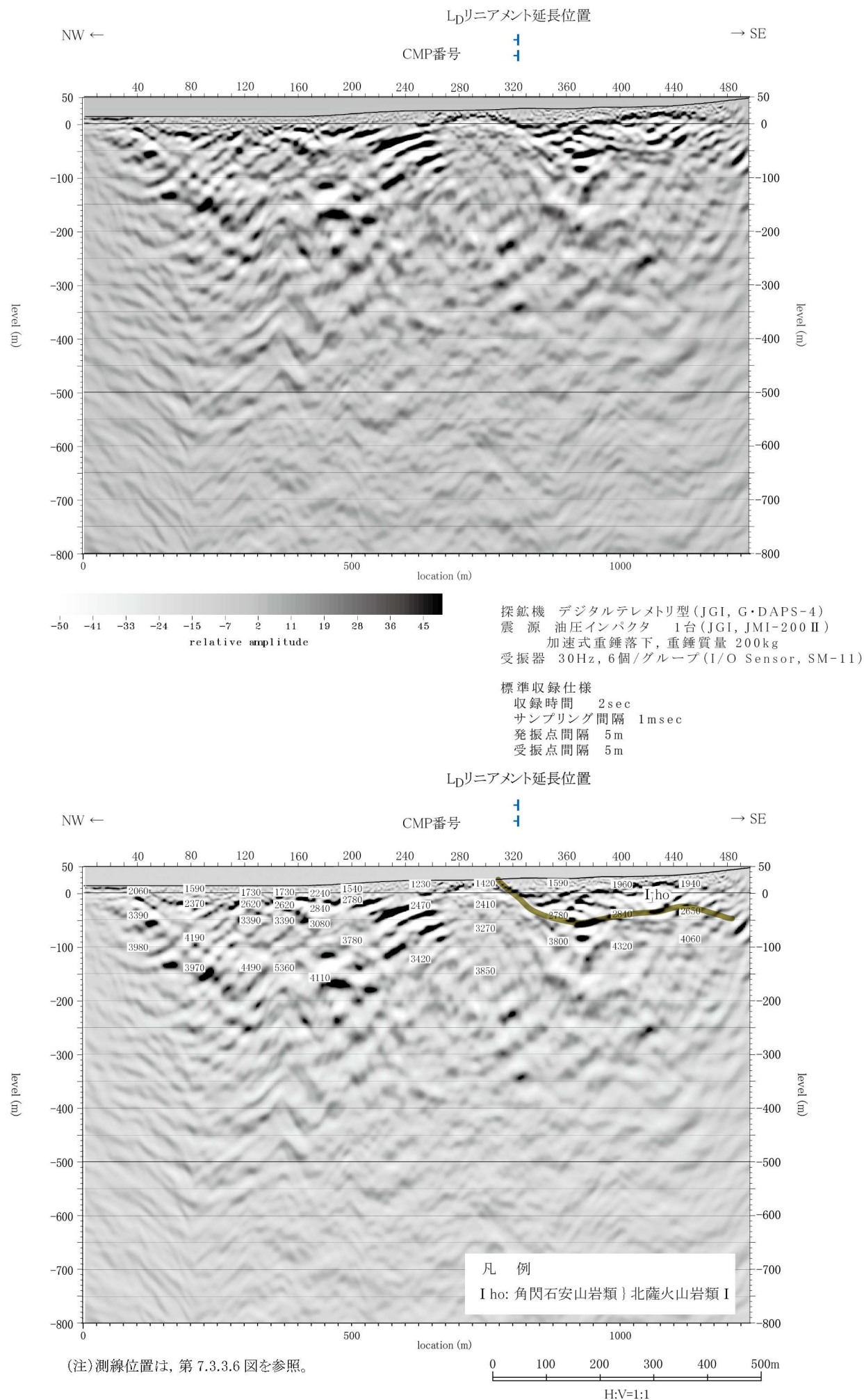


(注) 凡例は、第 7.3.3.7 図を参照。

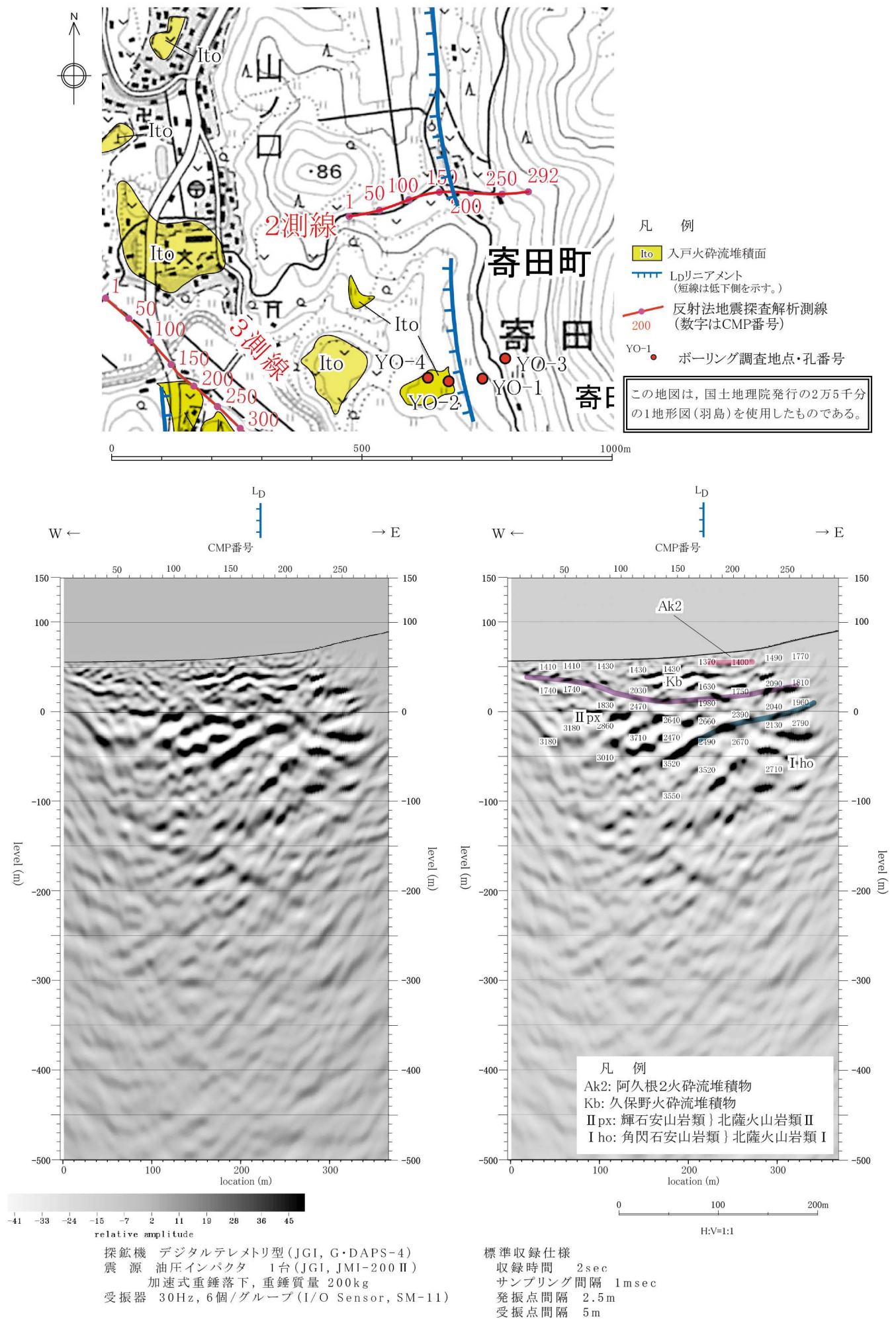


第 7.3.3.9 図 みやま池地点の地質図・ボーリング調査位置図

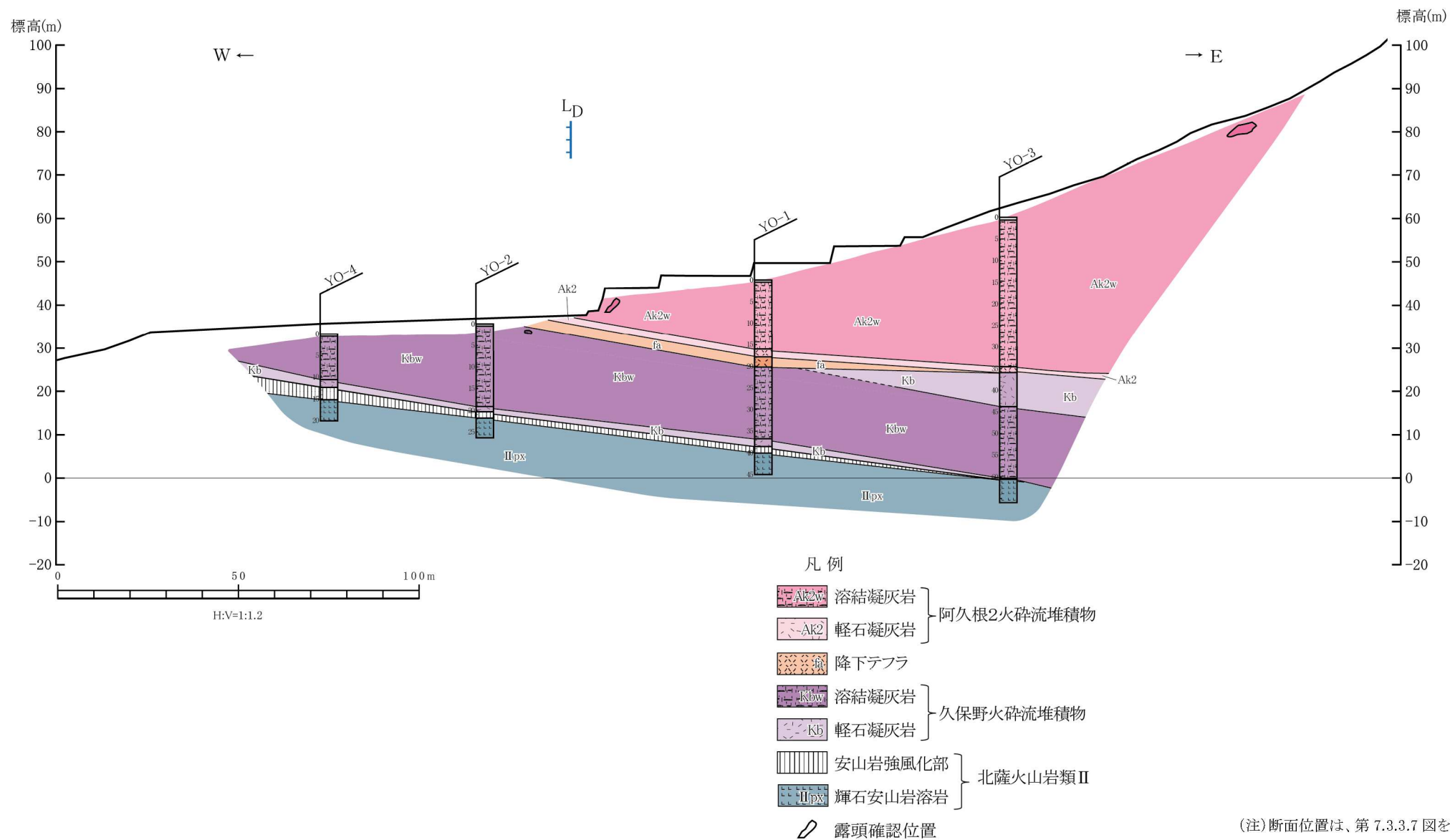




第 7.3.3.11 図(1) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (se 測線)



第7.3.3.11 図(2) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (2 測線)

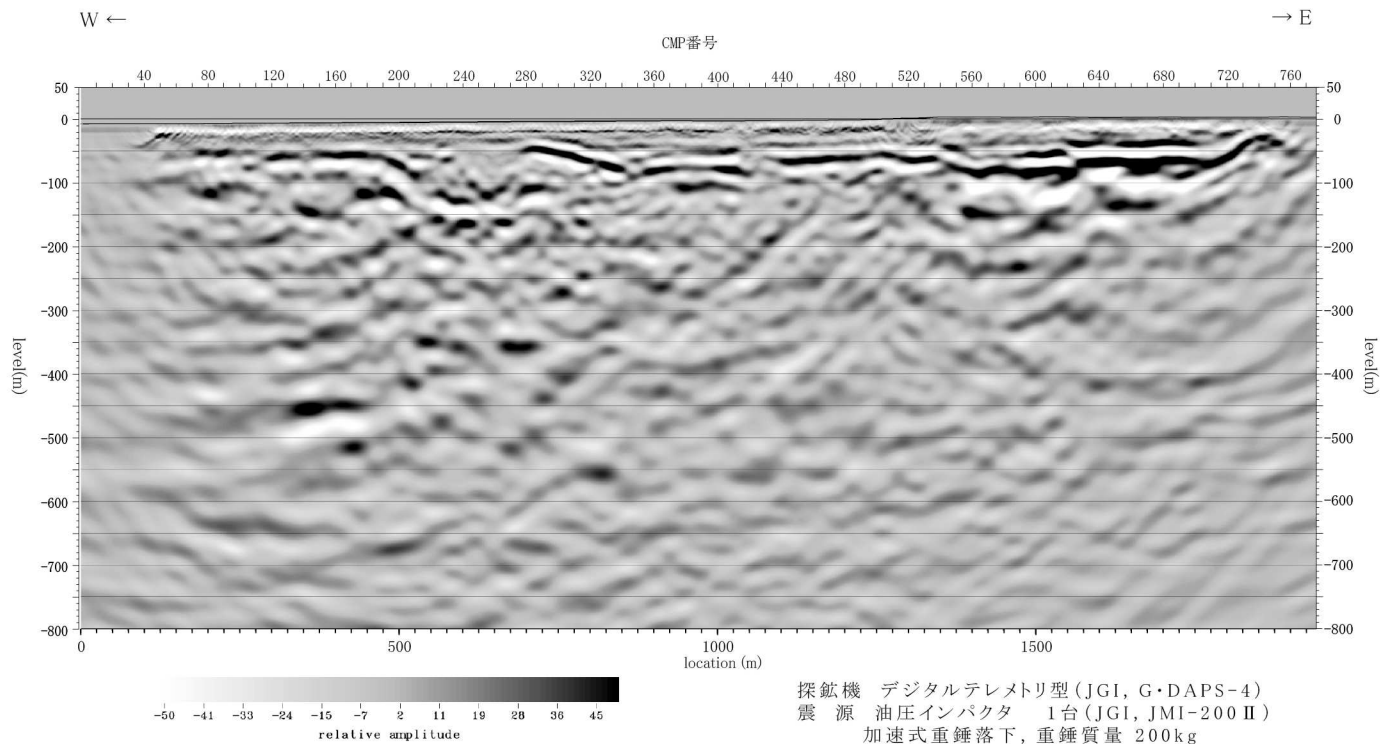


(注)断面位置は、第 7.3.3.7 図を参照。

第 7.3.3.12 図 地質断面図 (寄田東地点)

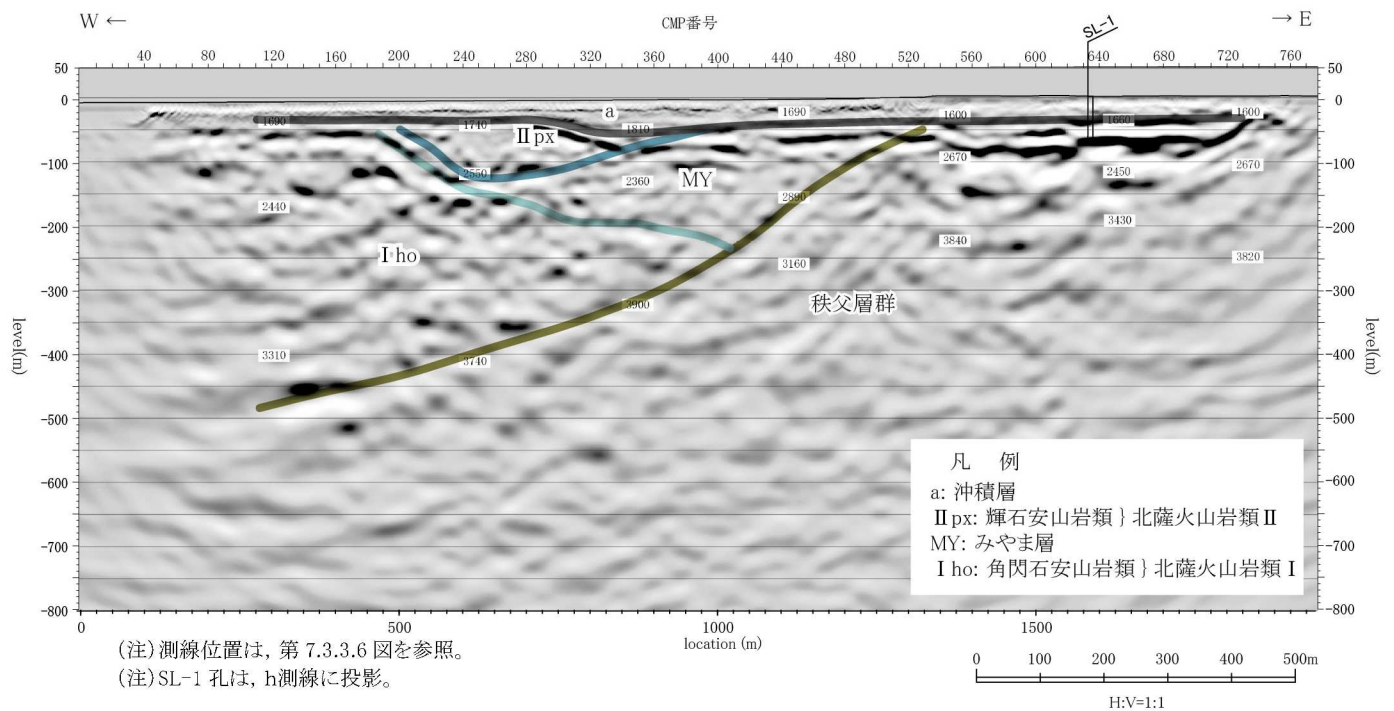
西側の断層は北東方向に連続しないことから、東側の断層に切断されるか、あるいは合流しているものと推定される。



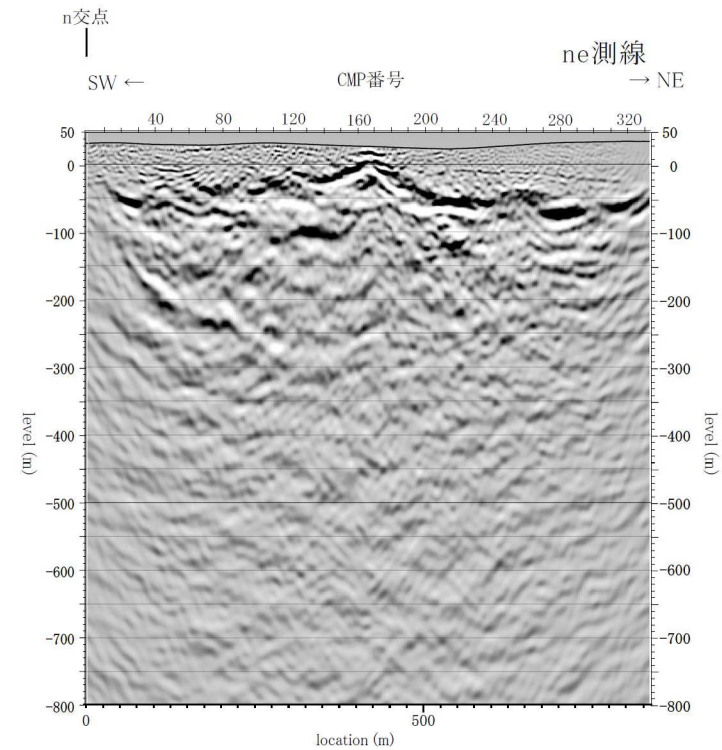
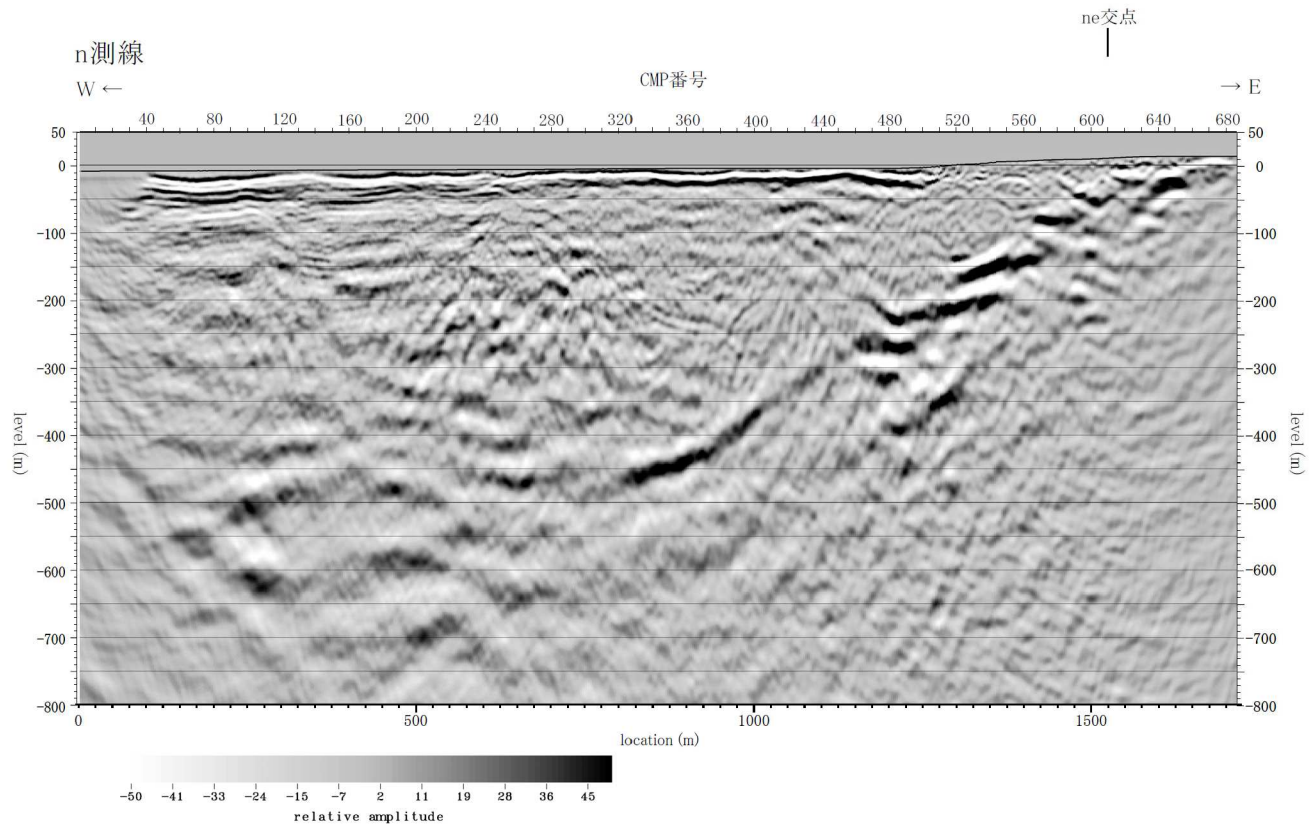


探鉱機 デジタルテレメトリ型 (JGI, G・DAPS-4)
 震源 油圧インパクト 1台 (JGI, JMI-200 II)
 加速式重錘落下, 重錘質量 200kg
 受振器 30Hz, 6個/グループ (I/O Sensor, SM-11)

標準収録仕様
 収録時間 2sec
 サンプル間隔 1msec
 発振点間隔 5m
 受振点間隔 5m

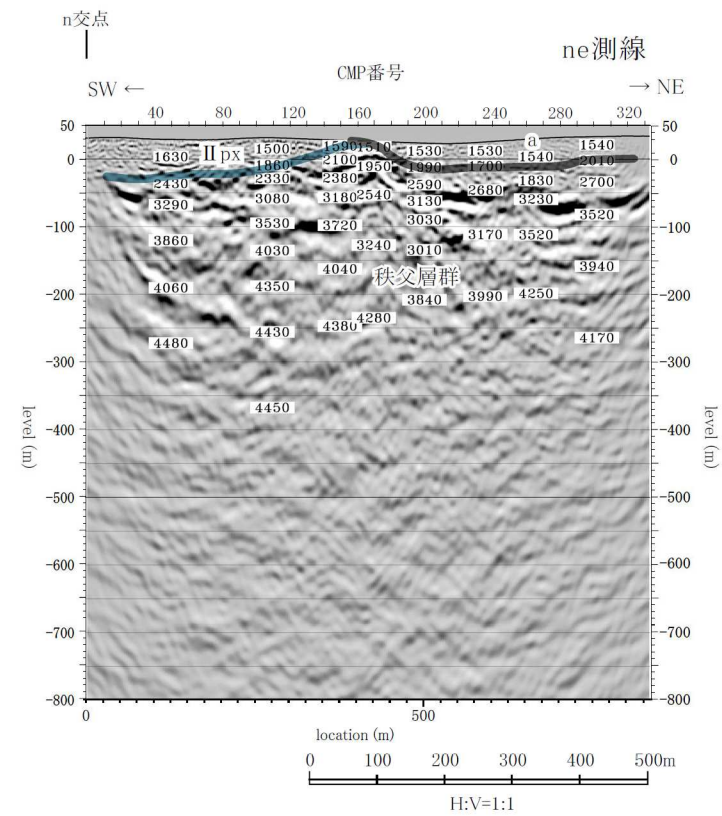
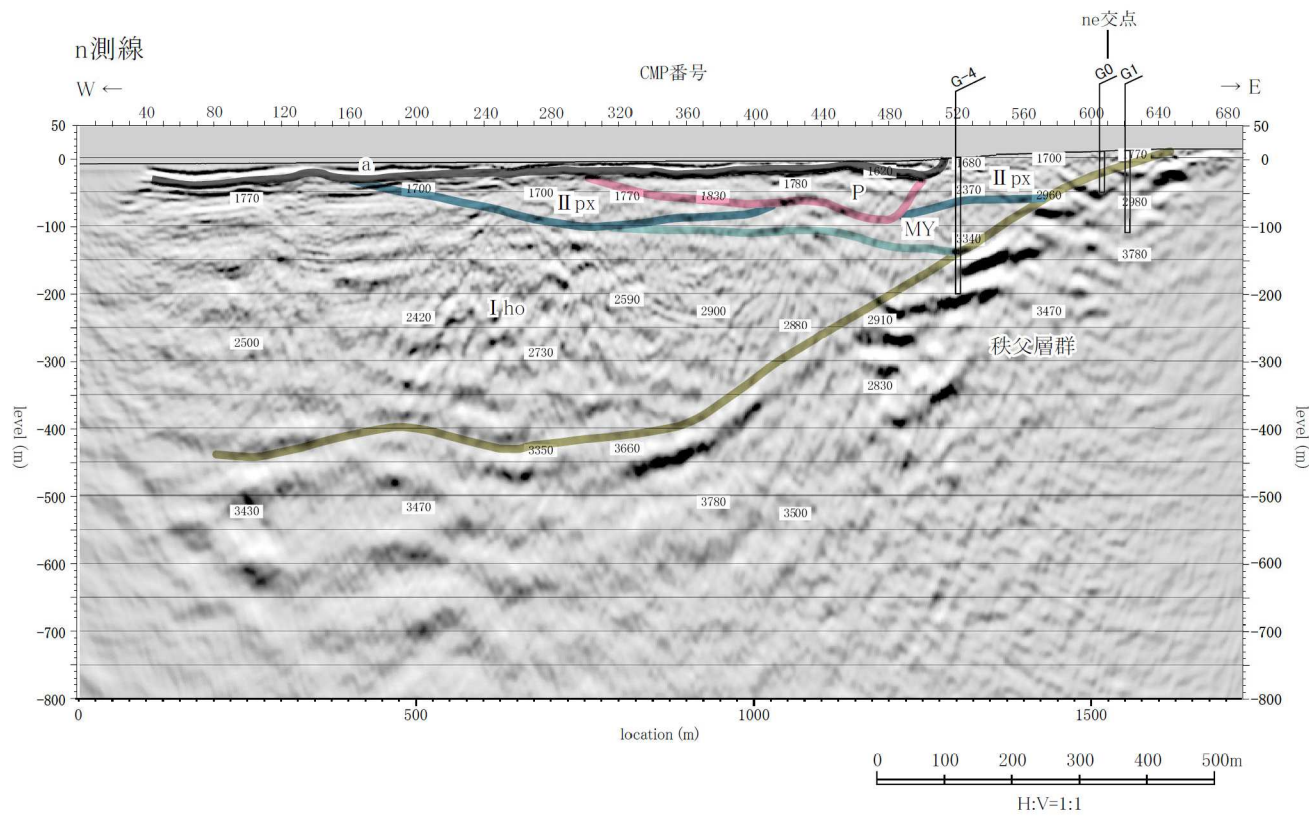


第 7.3.3.14 図(1) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (h 測線)



探鉱機 デジタルテレメトリ型 (JGI, G・DAPS-4)
震 源 油圧インパクト 1台 (JGI, JMI-200 II)
加速式重錘落下, 重錘質量 200kg
受振器 30Hz, 6個/グループ (I/O Sensor, SM-11)

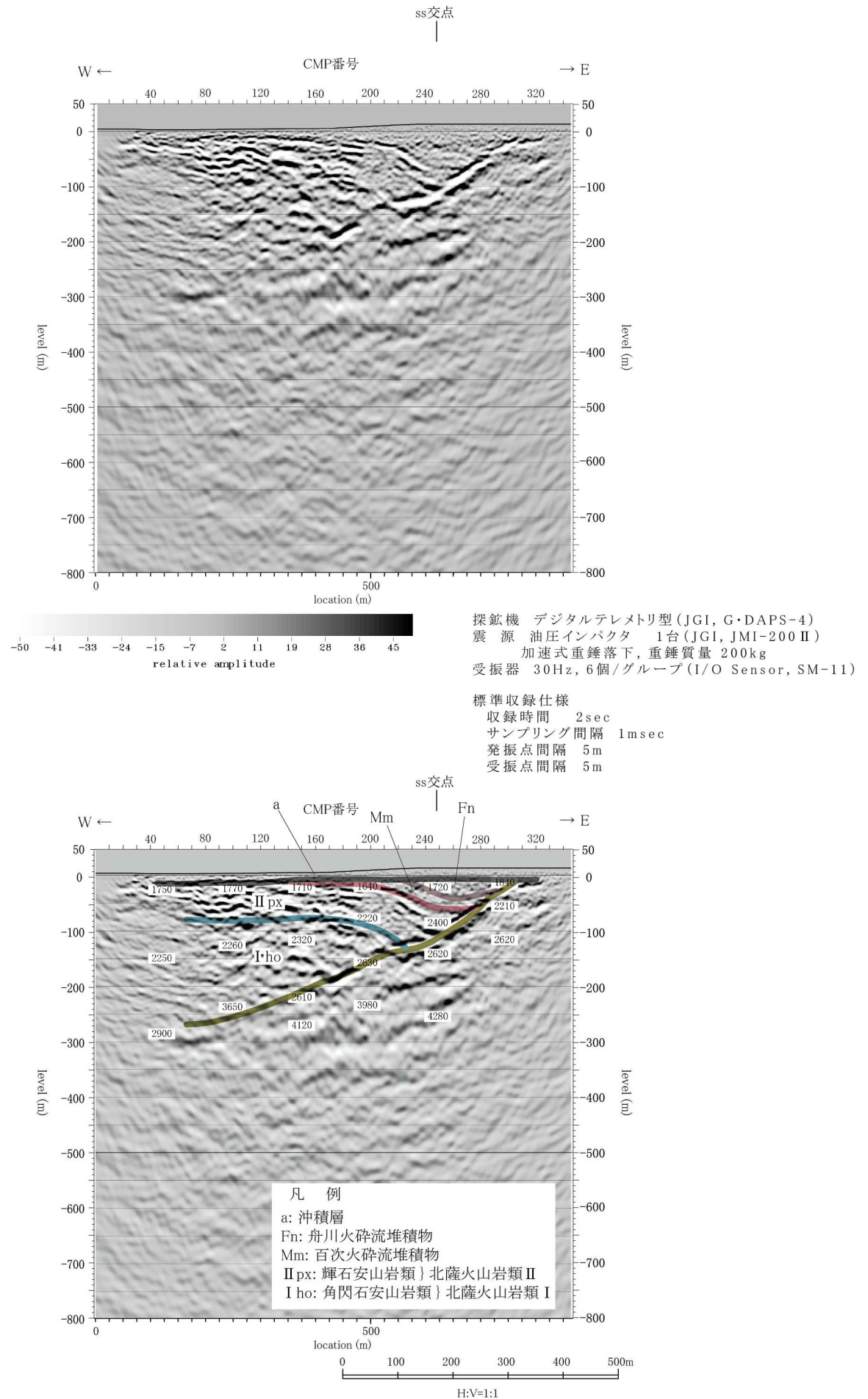
標準収録仕様
収録時間 2sec
サンプリング間隔 1msec
発振点間隔 5m
受振点間隔 5m



凡 例
a: 沖積層
P: 阿久根2火砕流堆積物など
II px: 輝石安山岩類 } 北薩火山岩類 II
MY: みやま層
I ho: 角閃石安山岩類 } 北薩火山岩類 I

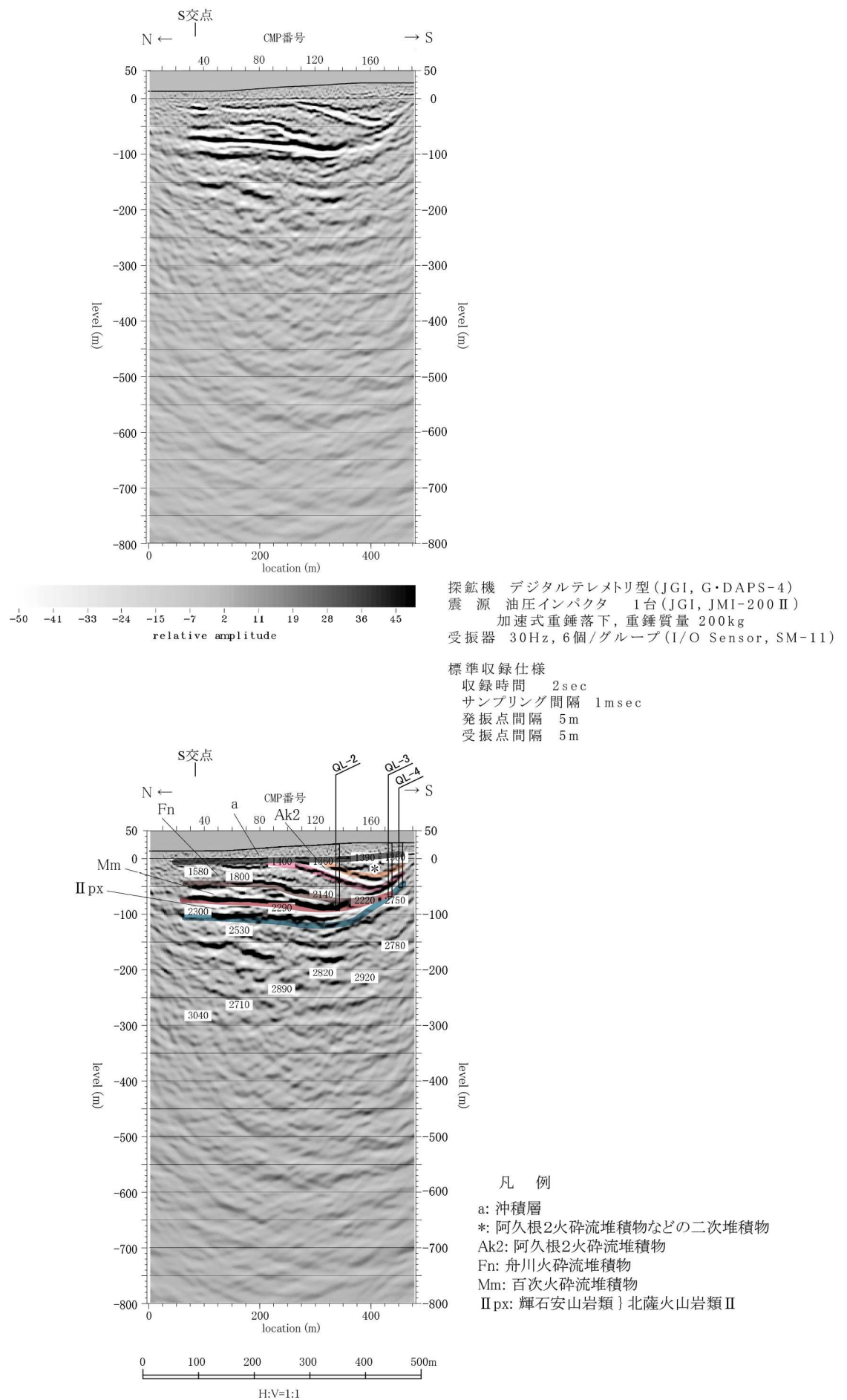
(注) 測線位置は, 第 7.3.3.6 図を参照。
(注) G-4 孔及び G1 孔は, n 測線に投影。

第 7.3.3.14 図(2) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (n 測線、ne 測線)

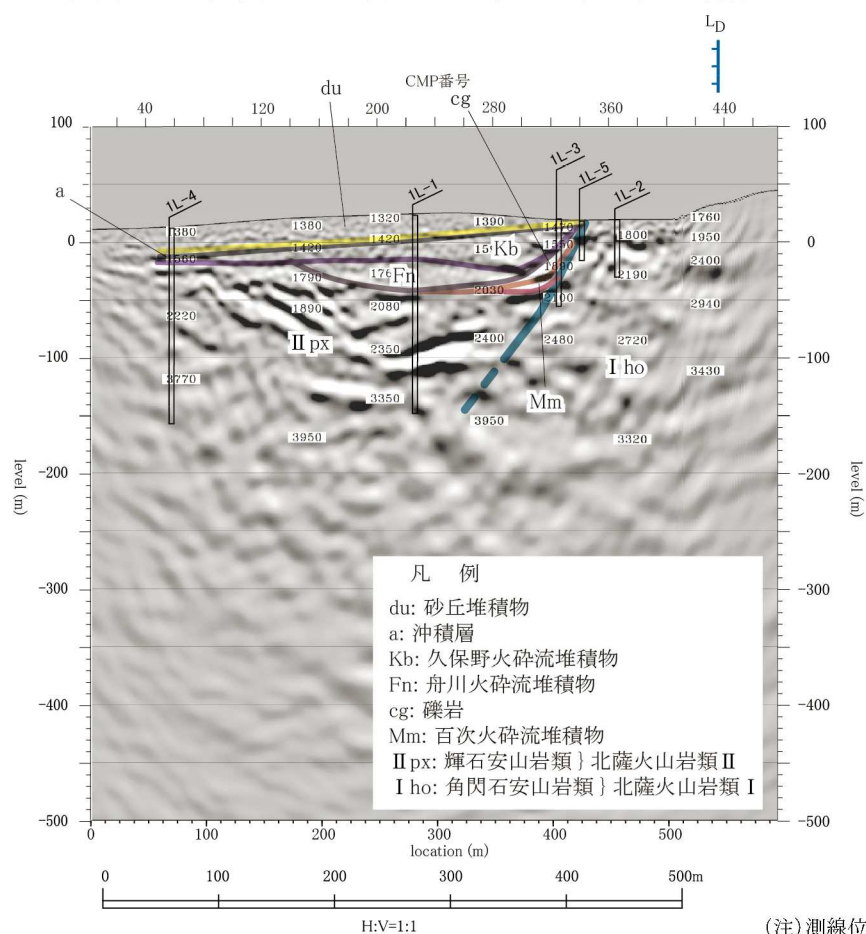
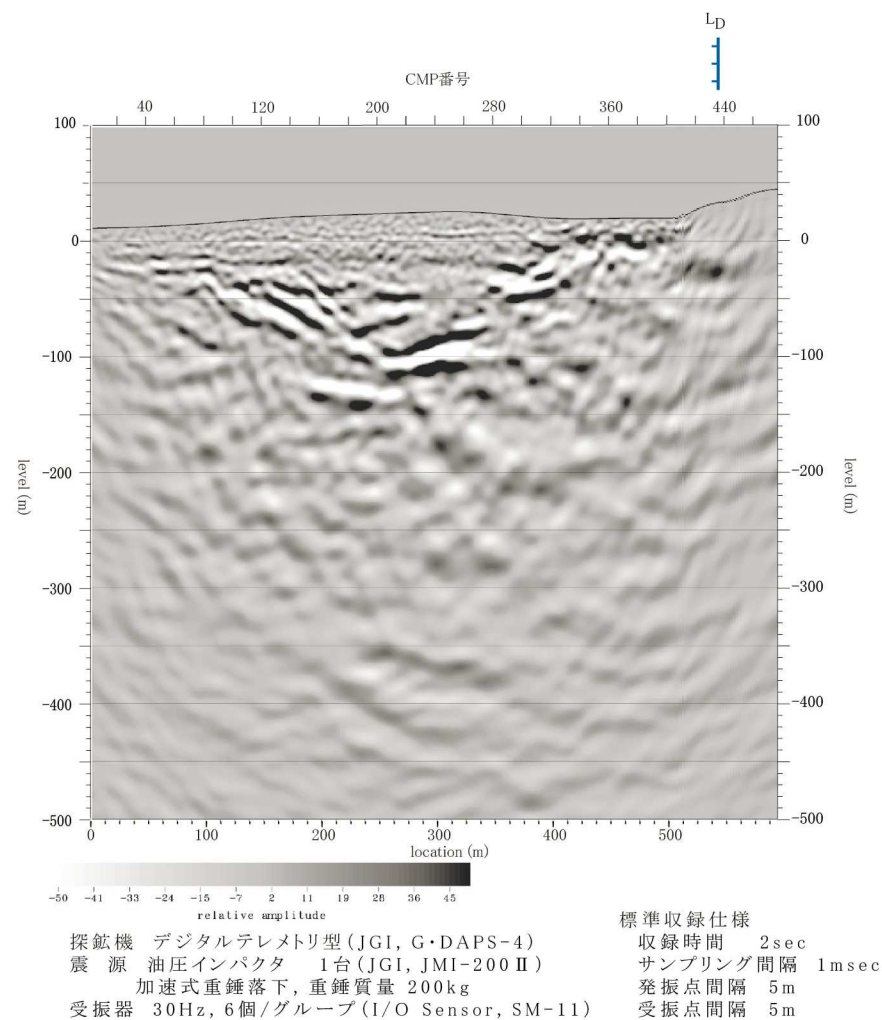


(注) 測線位置は、第 7.3.3.6 図を参照。

第 7.3.3.14 図(3) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (S 測線)



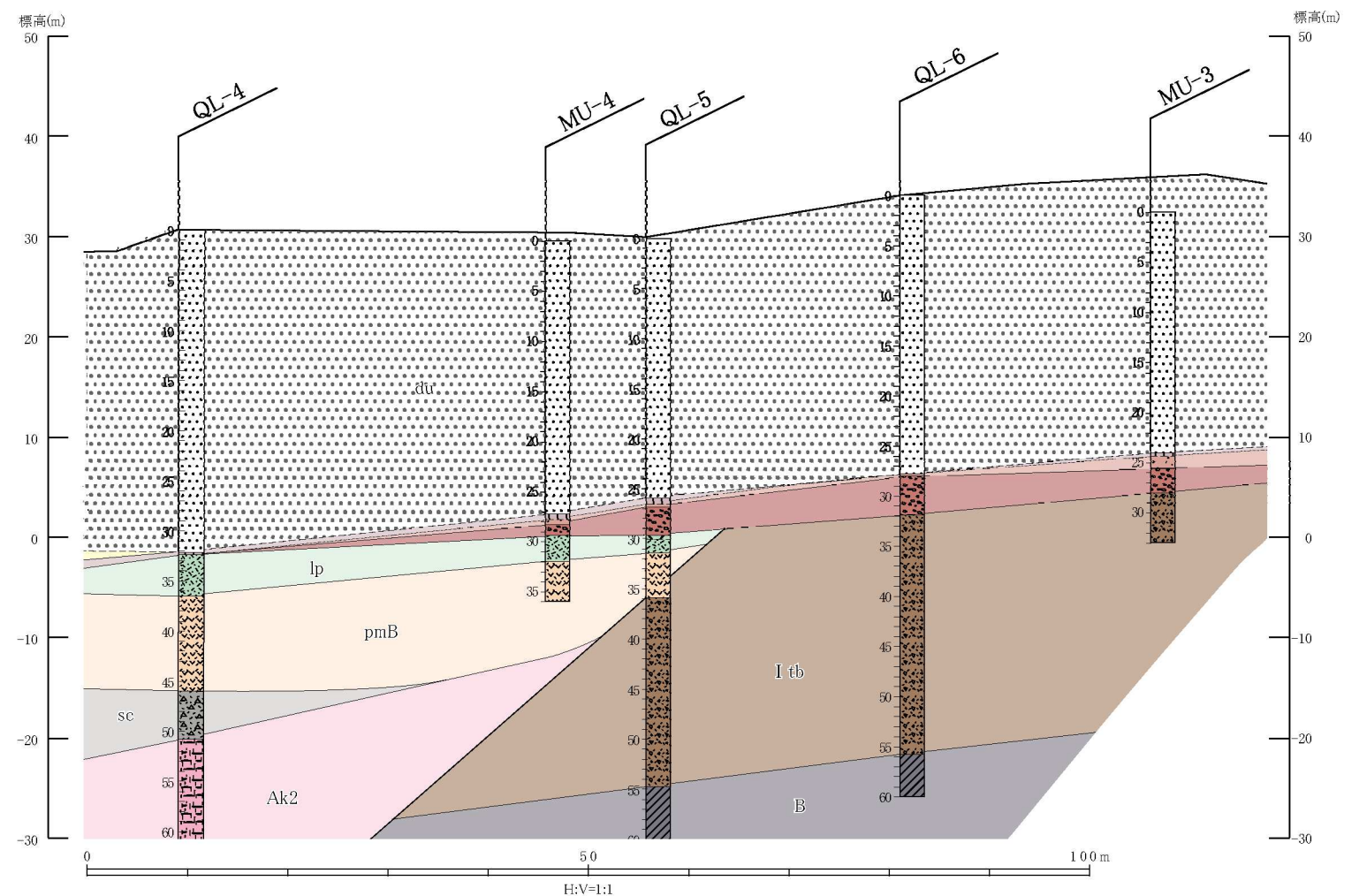
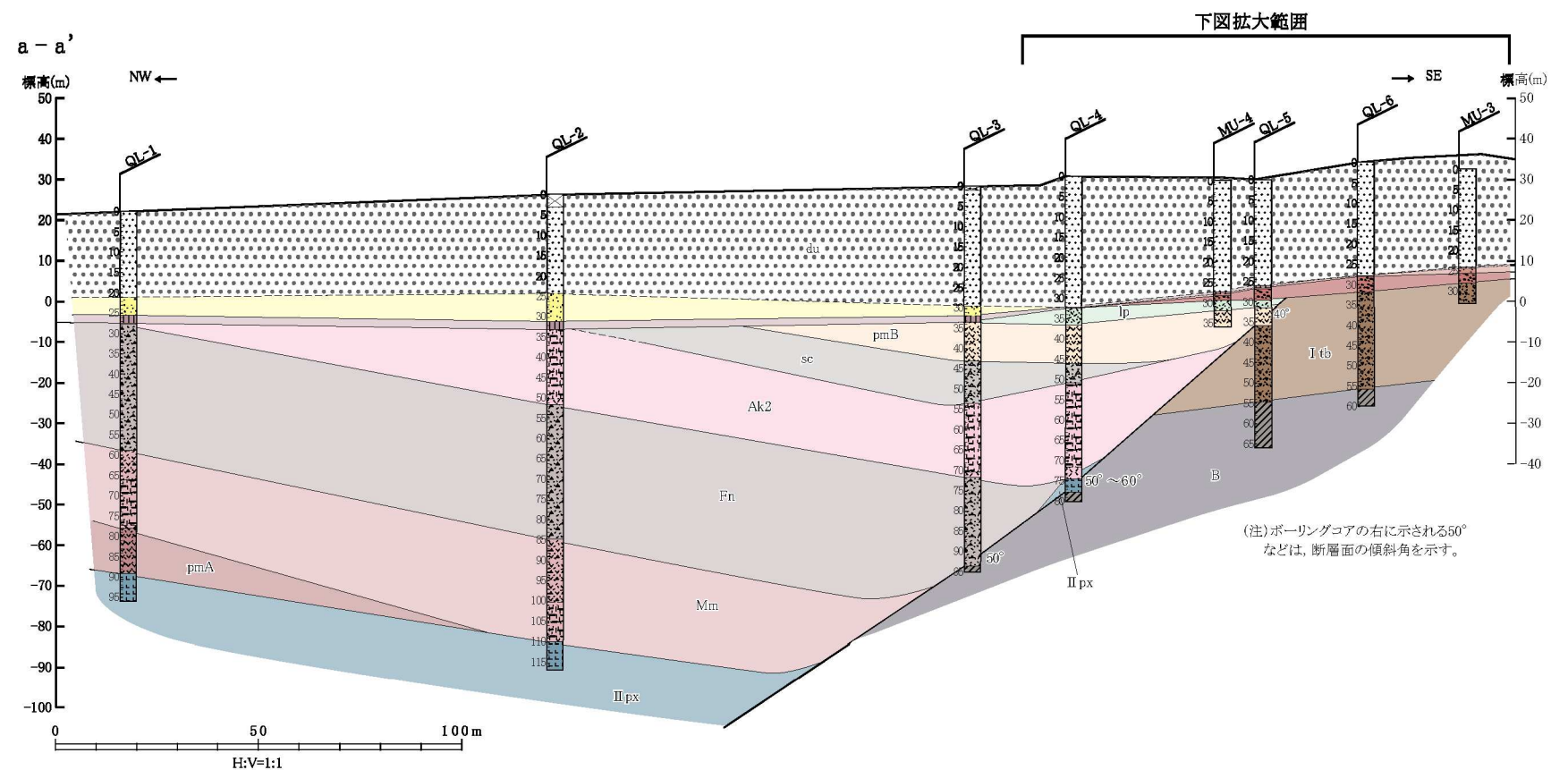
第 7.3.3.14 図(4) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (ss 測線)



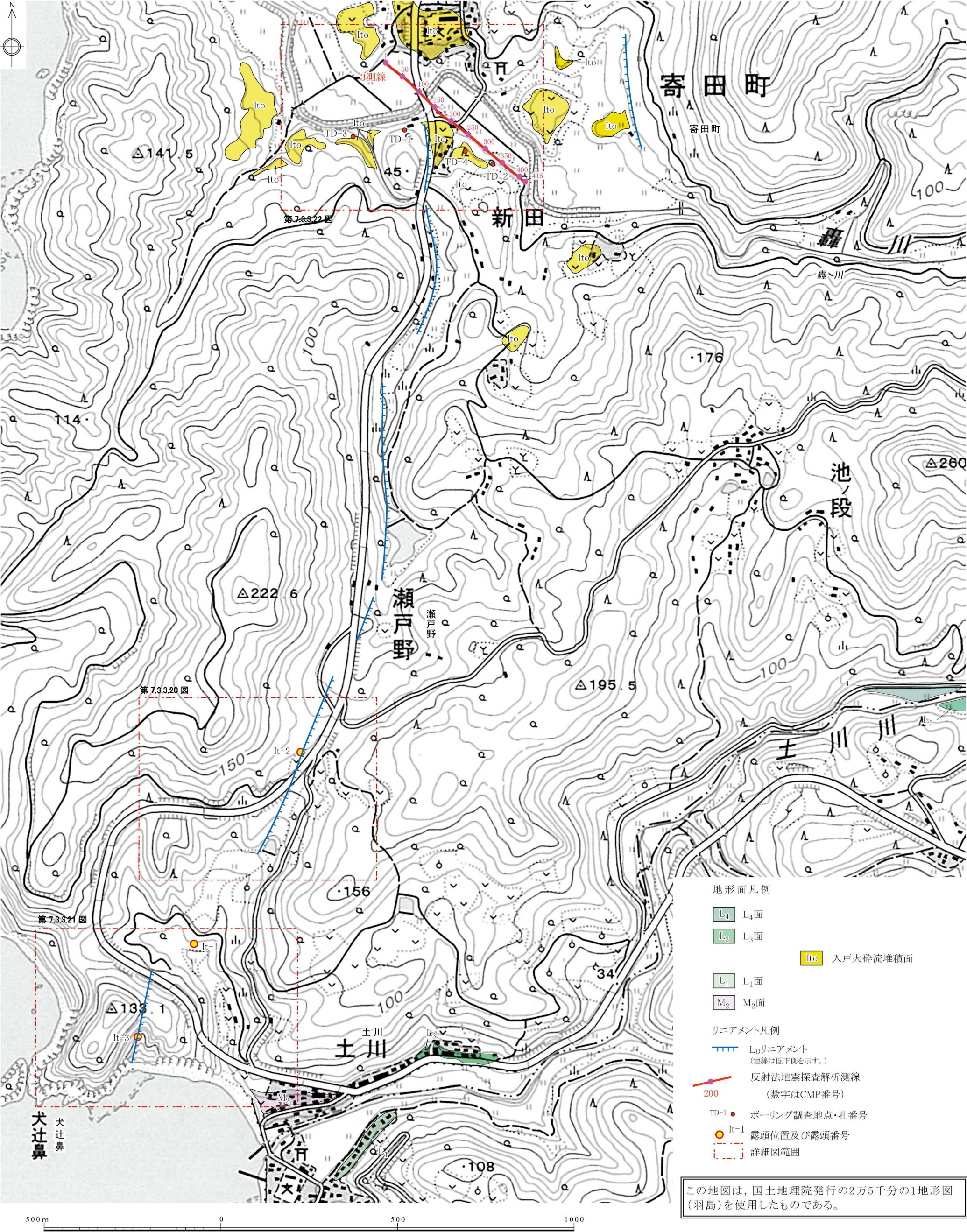
(注) 測線位置は, 第 7.3.3.6 図を参照。

(注) 1L-3 孔は, 1 測線に投影。

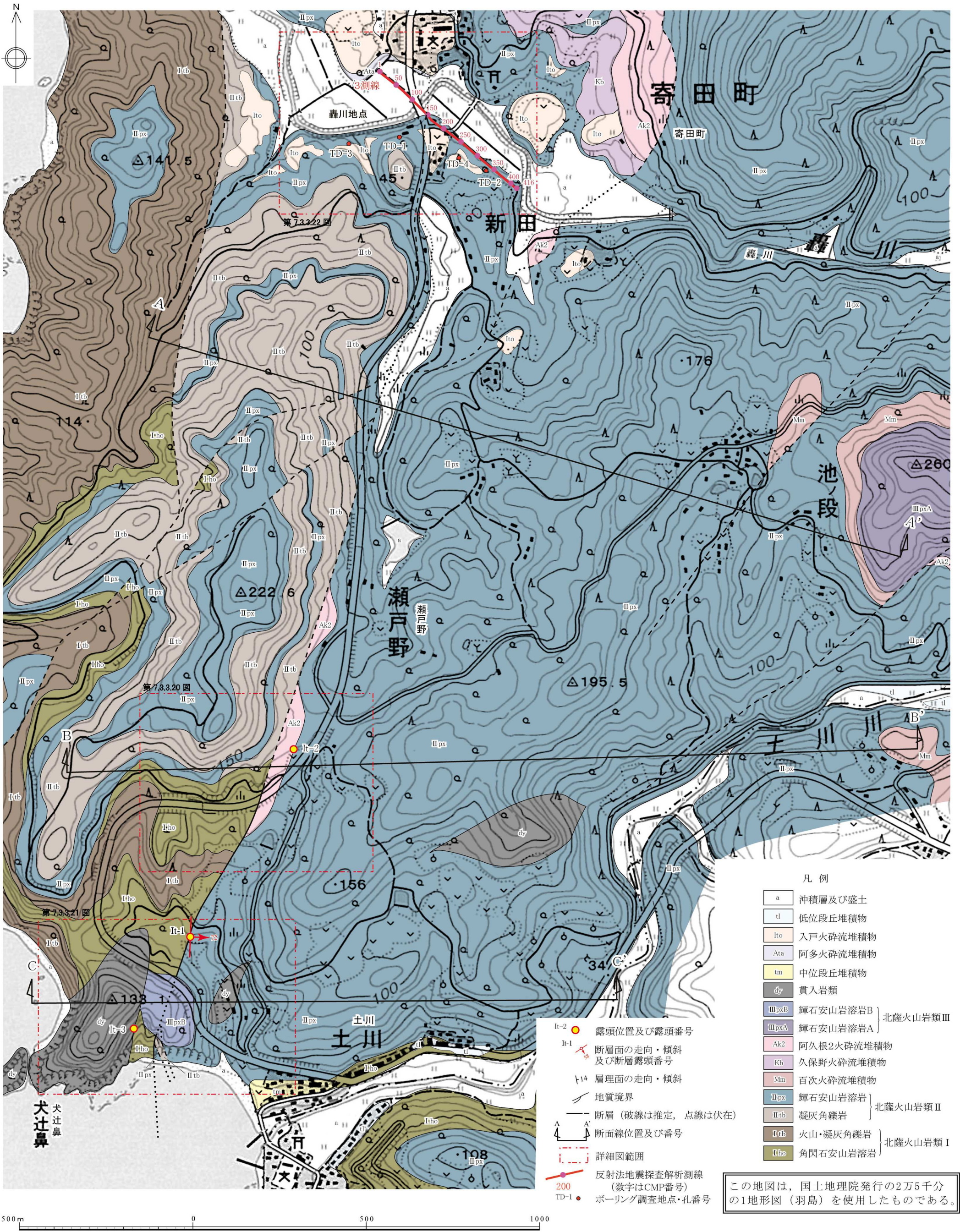
第 7.3.3.14 図(5) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (1 測線)



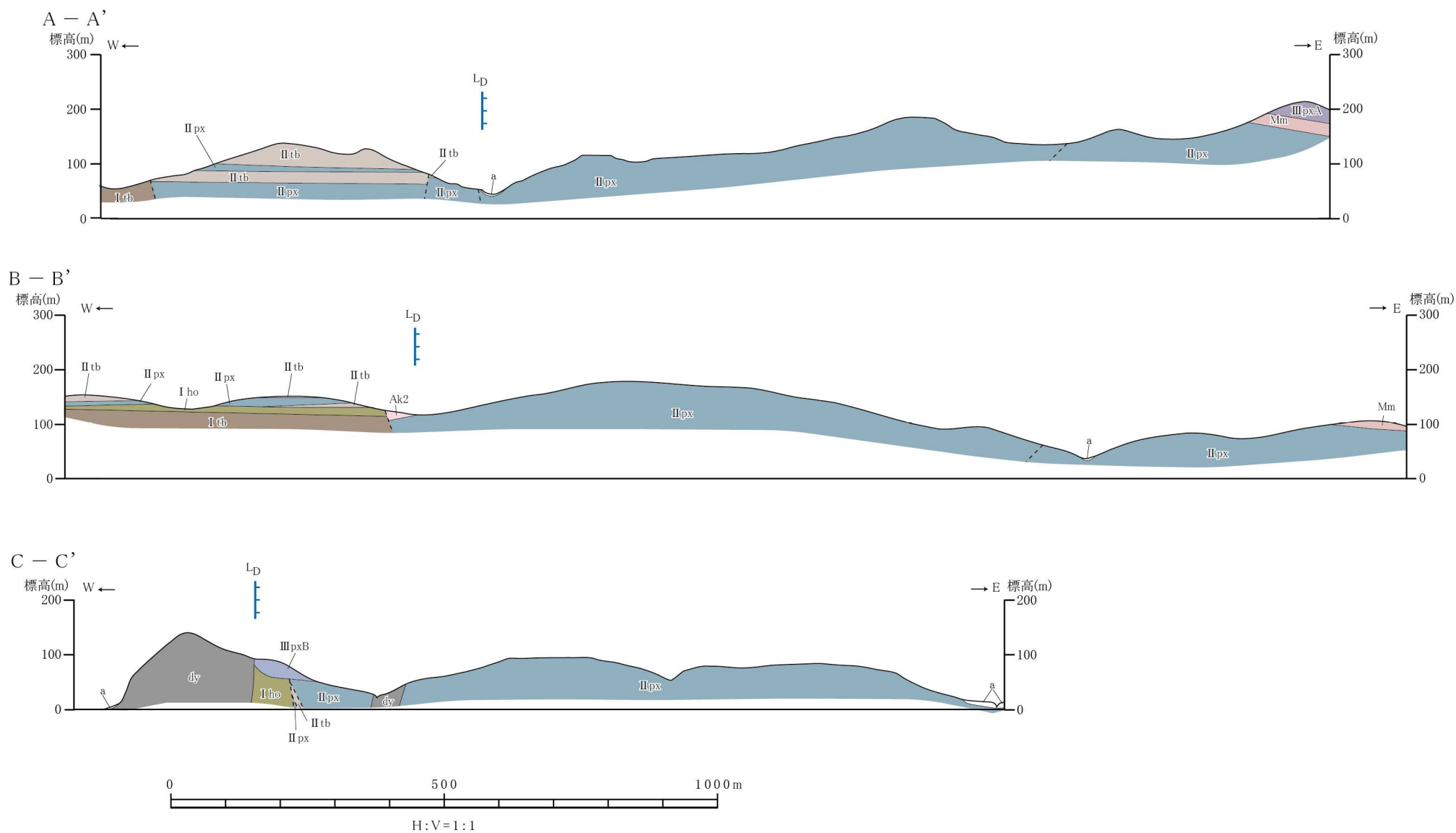
第 7.3.3.15 図 敷地南端部における地質断面図



第 7.3.3.16 図 犬辻鼻リニアメント周辺の空中写真判読図

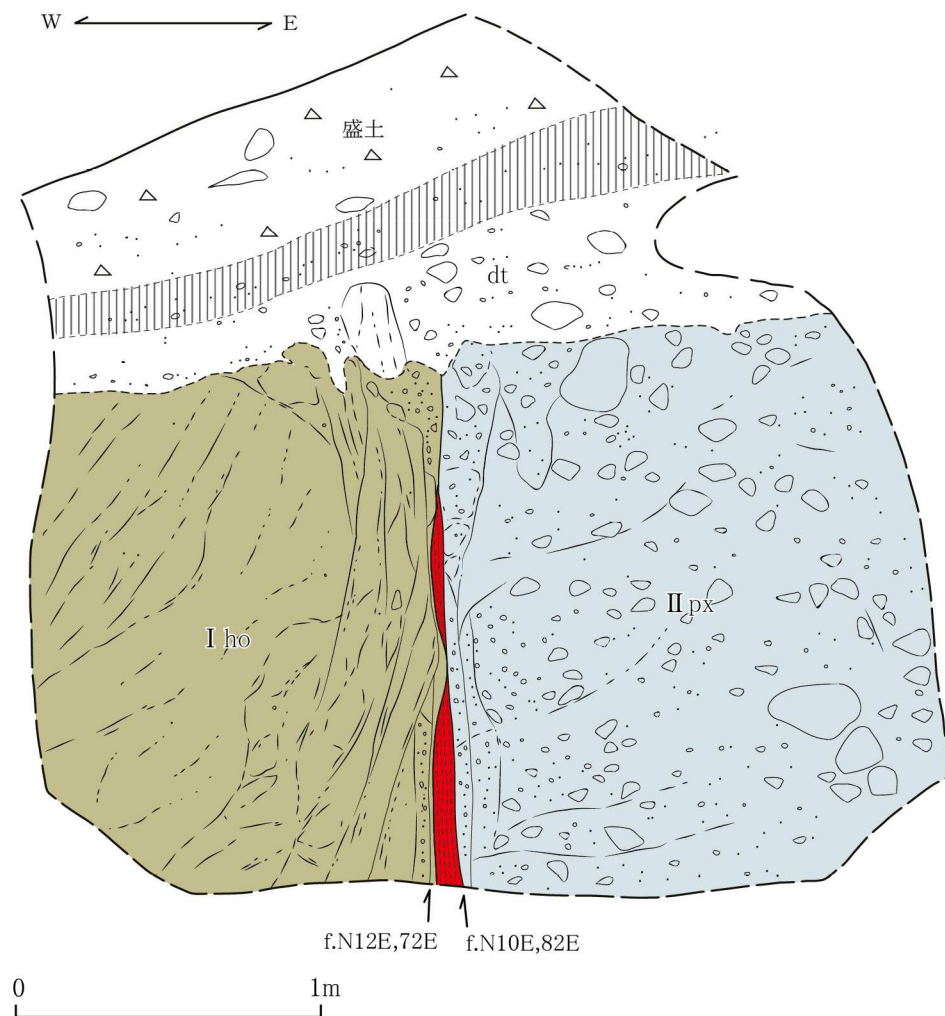


第 7.3.3.17 図 犬辻鼻リニアメント周辺の地質図



(注) 凡例は、第 7.3.3.17 図を参照。

第 7.3.3.18 図 犬辻鼻リニアメント周辺の地質断面図



西側の角閃石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅰ）と東側の輝石安山岩自破碎溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）とを境する断層。

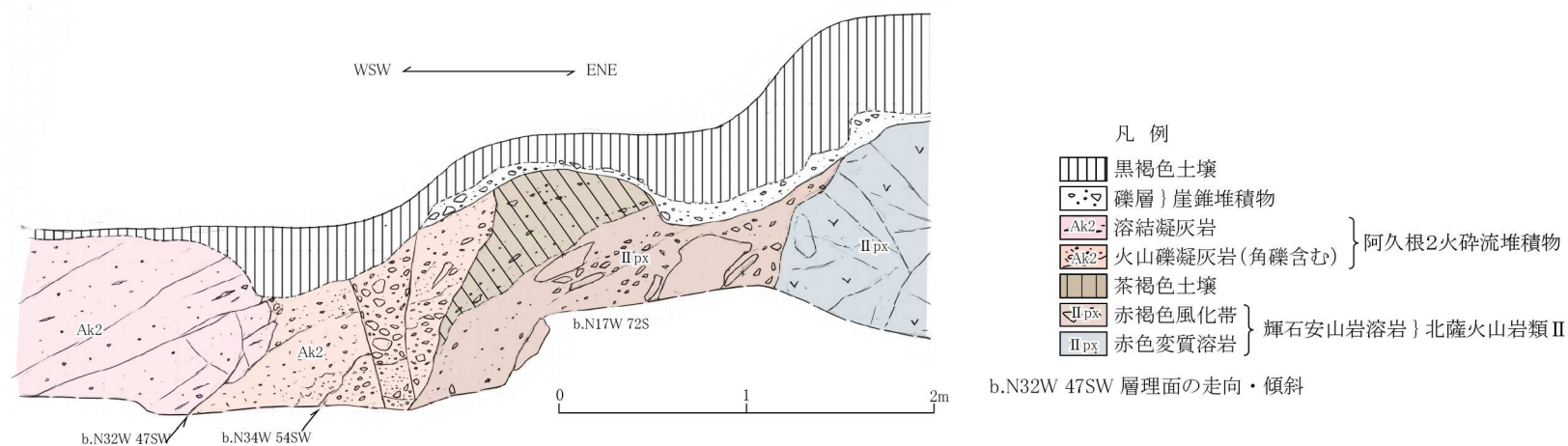
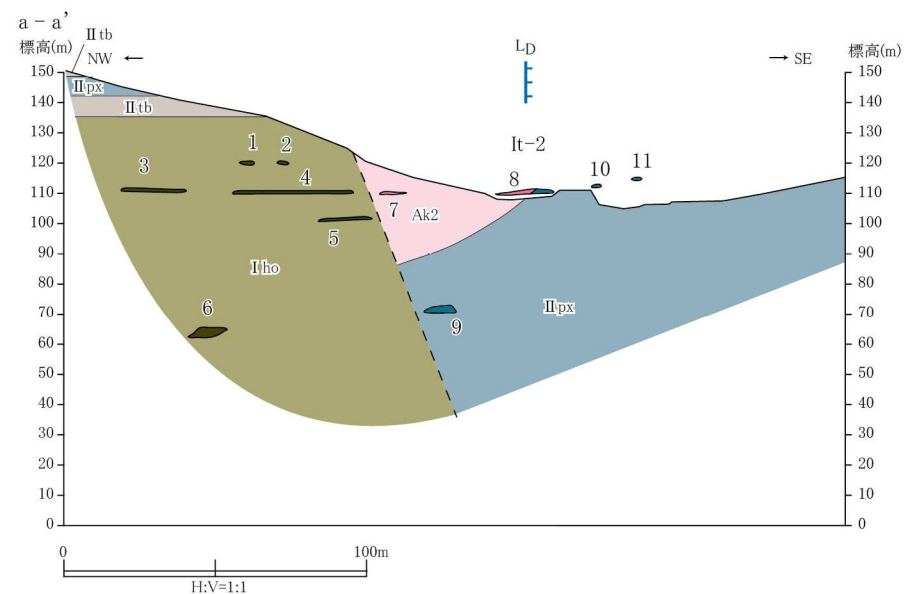
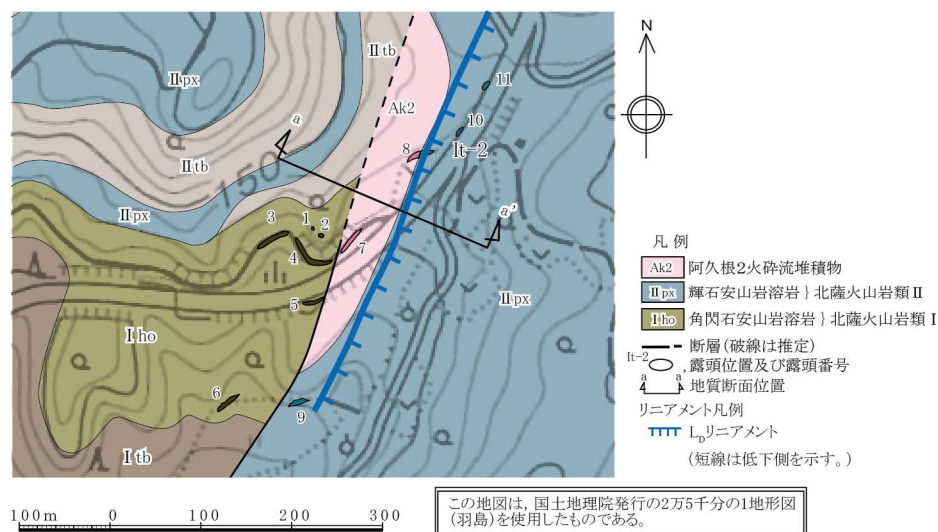
断層面は平面的であり，面沿いに幅5cm程度の軟質粘土が認められるが，一部で軟質粘土は連続せず，断層面も癒着している。

凡 例

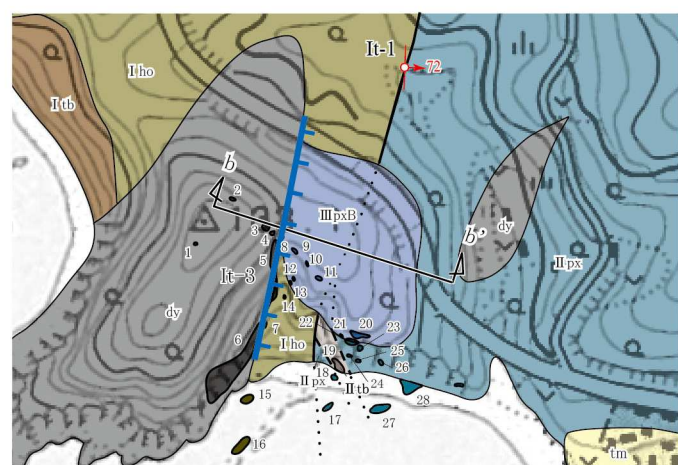
-  黒褐色～茶褐色土壌
-  黄褐色砂層 } 崖錐性堆積物
-  Ⅱpx 輝石安山岩自破碎溶岩 } 北薩火山岩類Ⅱ
-  Ⅰho 角閃石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類Ⅰ
-  軟質粘土

f.N12E,72E 断層面の走向・傾斜

第 7.3.3.19 図 露頭スケッチ (Loc. It-1, 薩摩川内市土川北)

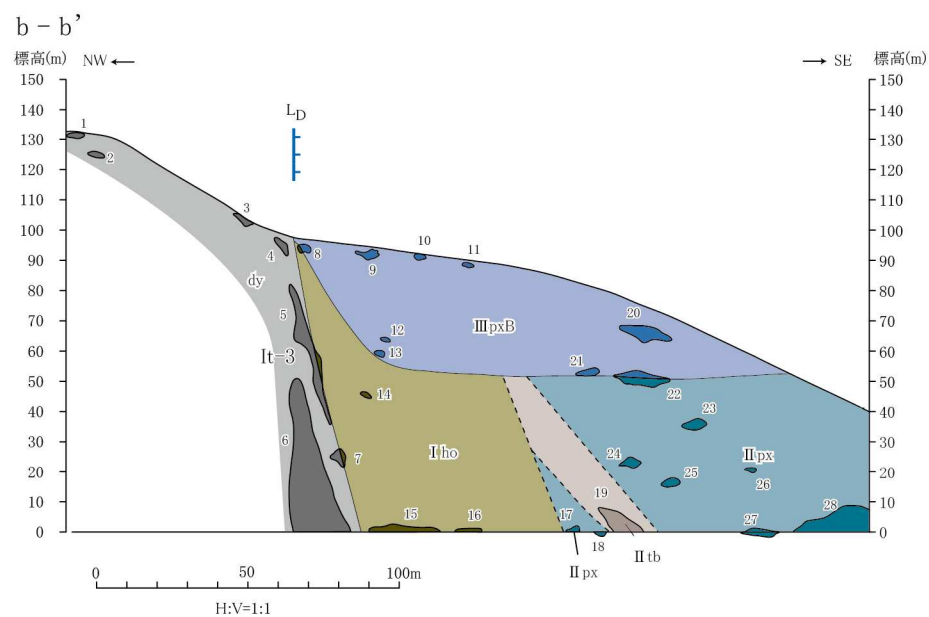


第 7. 3. 3. 20 図 ルートマップ・地質断面図・露頭スケッチ (Loc. It-2, 薩摩川内市瀬戸野付近)



100m 0 100 200 300

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図
(羽島)を使用したものである。



H:V=1:1

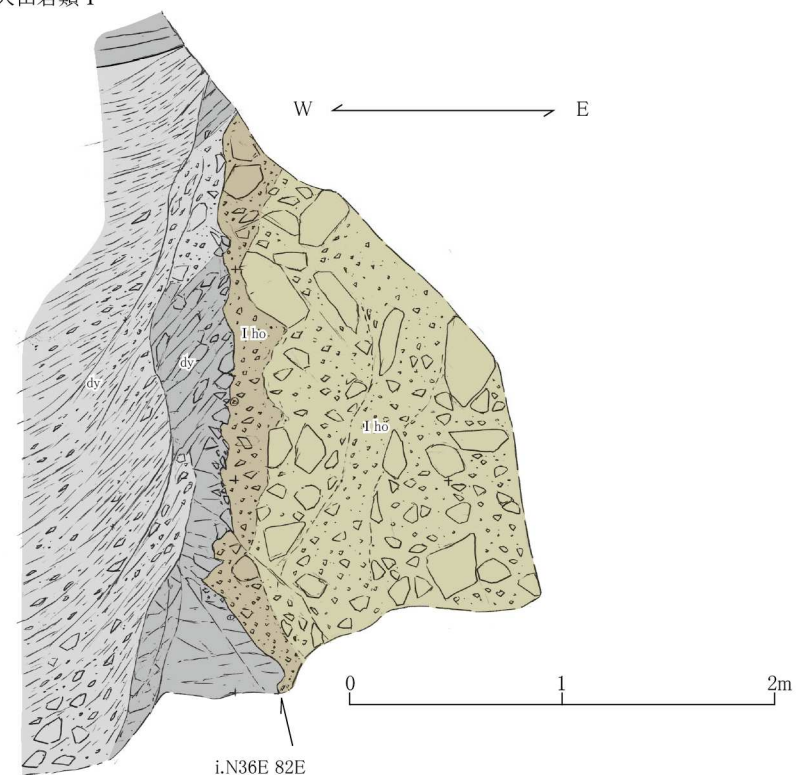


凡 例

- tm 中位段丘堆積物
- dy 貫入岩類
- IIIpxB 輝石安山岩溶岩B } 北薩火山岩類III
- IIpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類II
- IItb 凝灰角礫岩
- Ith 火山・凝灰角礫岩 } 北薩火山岩類I
- Iho 角閃石安山岩溶岩

- 断 層(破線は推定, 点線は伏在)
- It-1 断層面の走向・傾斜及び露頭番号
- It-3 露頭位置及び露頭番号
- b b' 地質断面位置

- リニアメント凡例
- TTTT L_Dリニアメント
(短線は低下側を示す。)

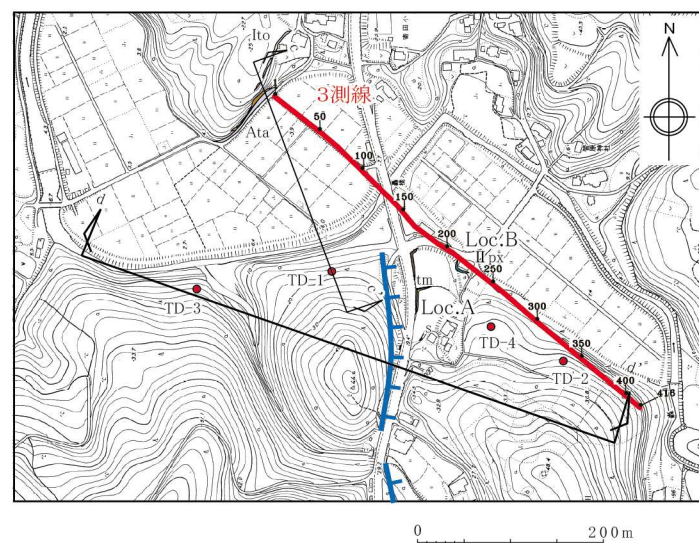


凡 例

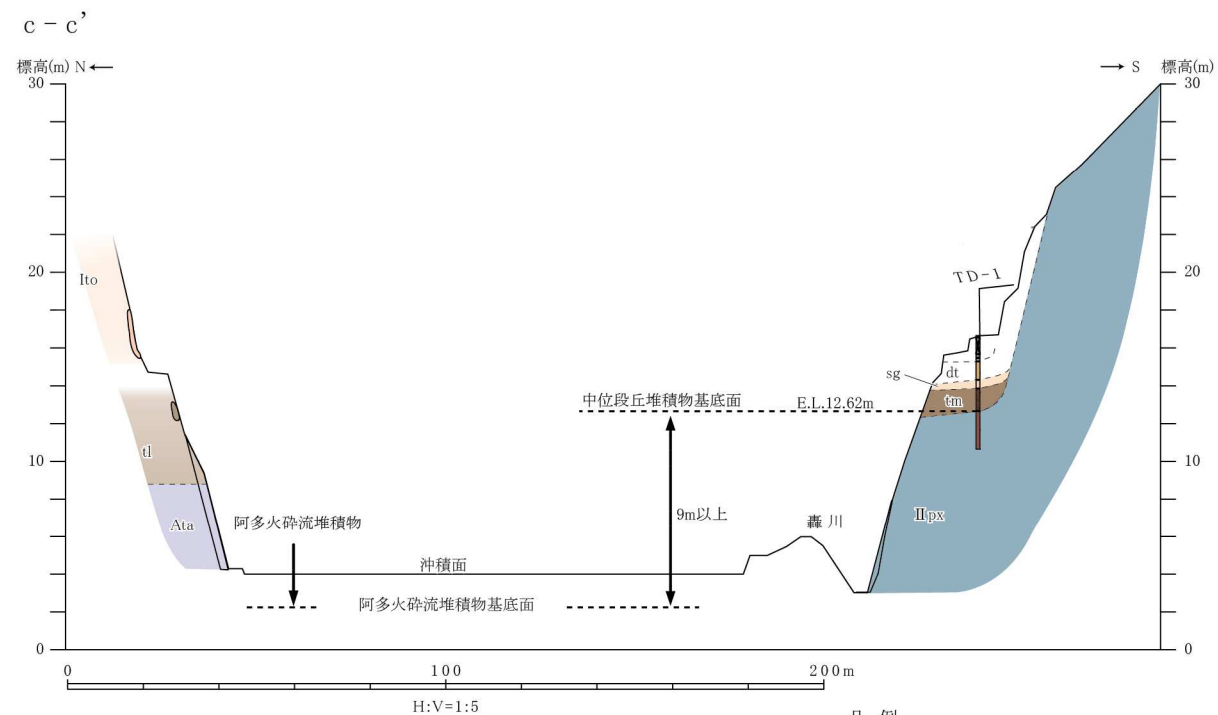
- 貫入岩(細片状) } 貫入岩類(角閃石安山岩)
- 貫入岩(板状節理卓越)
- 細礫状溶岩 } 角閃石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類I
- 角礫状溶岩

i.N36E 82E 貫入面の走向・傾斜

第 7.3.3.21 図 ルートマップ・地質断面図・露頭スケッチ (Loc. It-3, 薩摩川内市犬辻鼻東方付近)

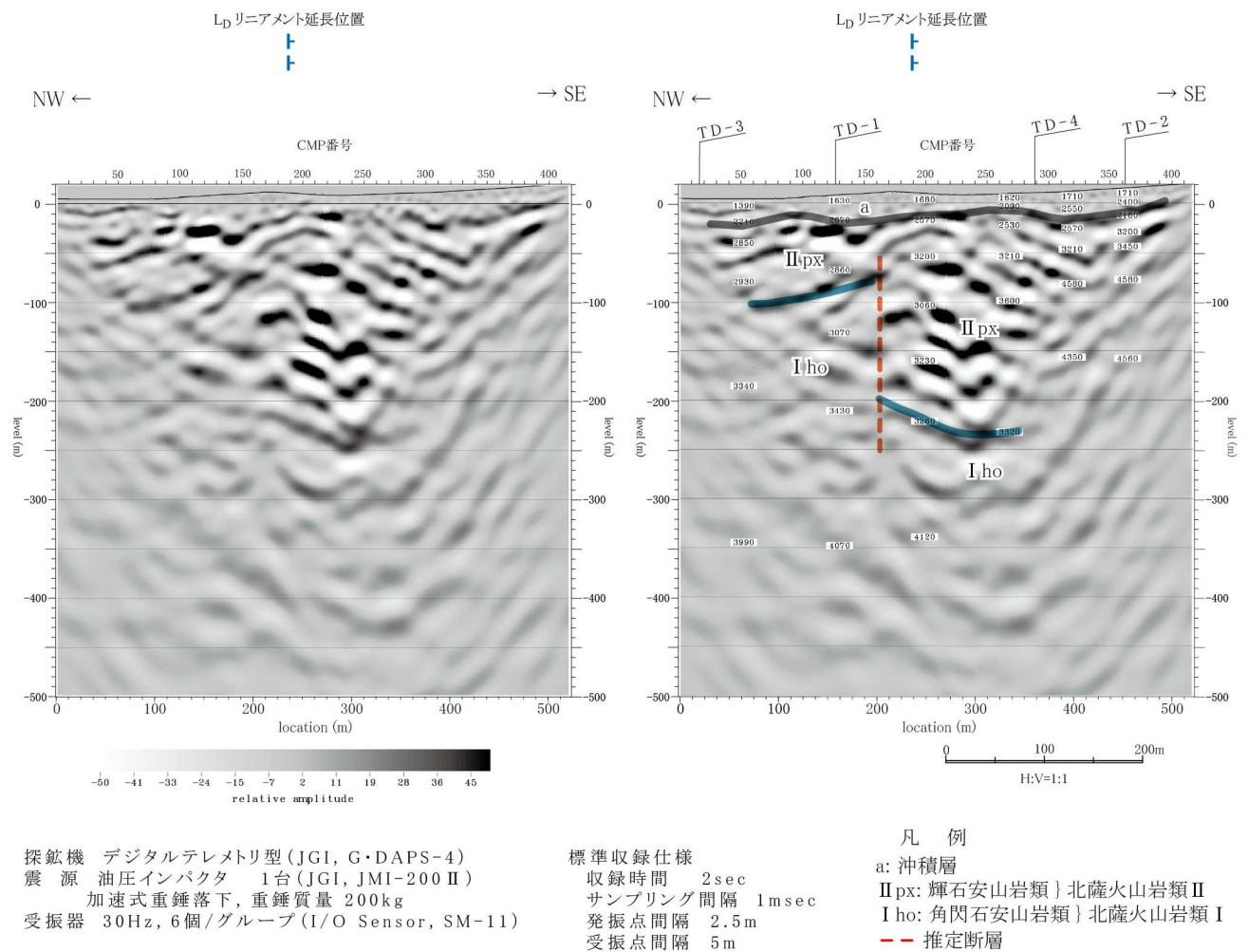


- 凡 例
- Loc.A ○ 露頭位置及び露頭番号
- c c' 地質断面位置
- 200 反射法地震探査測線
(数字はCMP番号)
- TD-1 ● ボーリング調査地点・孔番号
- リニアメント凡例
- L_Dリニアメント
(短線は低下側を示す。)



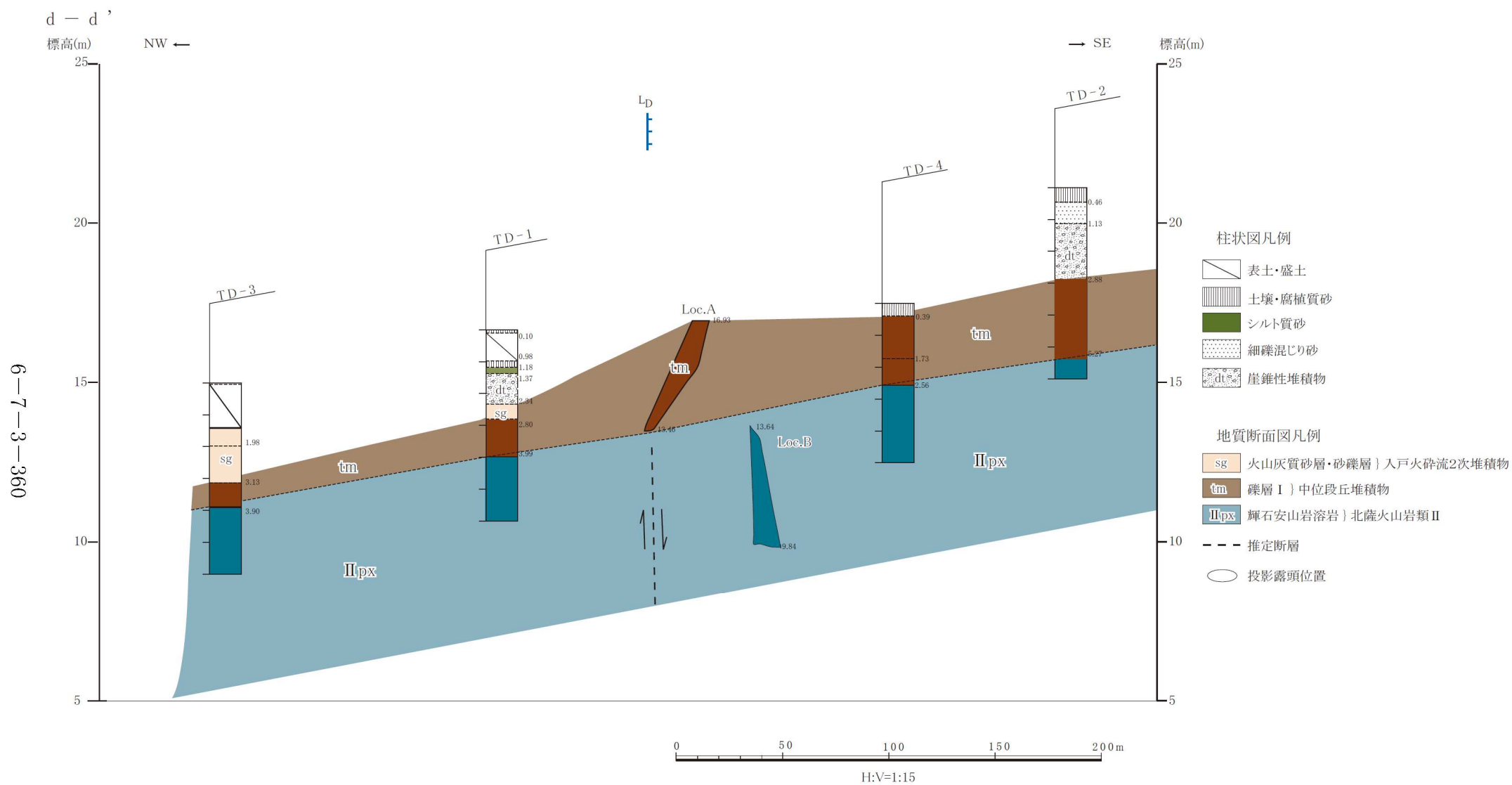
- 凡 例
- dt 崖錐性堆積物
- sg 火山灰質砂層・砂礫層 } 入戸火砕流2次堆積物
- Ito 入戸火砕流堆積物
- tl 礫層Ⅱ } 低位段丘堆積物
- Ata 阿多火砕流堆積物
- tm 礫層Ⅰ } 中位段丘堆積物
- Ilpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類Ⅱ
- 投影露頭位置

第 7.3.3.22 図 調査位置図・地質断面図（轟川地点）



(注) 測線位置は, 第 7.3.3.16 図を参照。

第 7.3.3.23 図 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (3 測線)



(注)断面位置は、第 7.3.3.22 図を参照。

第 7.3.3.24 図 地質断面図 (轟川地点)